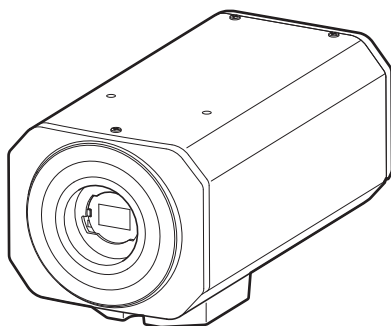


HD ハイブリッドカメラ

型名 **TK-HD9801**

取扱説明書



オンラインマニュアル

スマートフォン、タブレット、パソコンに標準搭載のブラウザでも設置や設定方法について閲覧することができます。

<https://manual3.jvckenwood.com/jkpi/manual/jp/>



お買い上げありがとうございます。

ご使用前にこの『取扱説明書』と別冊の『スタートアップガイド』をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に『スタートアップガイド』の「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき安全にお使いください。

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際には本機に製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかお確かめください。

はじめに

特長

■ WDR(ワイドダイナミックレンジ)機能

実際に屋外でのフィールドテストを重ね、厳しい逆光シーンに対応できる実用的な WDR 性能を研究し、機能として搭載しています。

■ アナログ映像出力(AHD,HD-TVI,NTSC)対応

本機背面の出力切替スイッチで HD/NTSC の切り替えが可能です。

■ 映像遅延がほとんどなく、起動が早い

アナログ映像で 140ms 以下の低遅延です。アナログ出力は電源 ON から 6 秒以内に出画します。

■ AC100V-AC115V で使用可能

商用電源 AC100V 50Hz/60Hz、または鉄道事業者専用電源 AC115V 50Hz/60Hz を使用可能です。

■ 厳しい設置環境に対応

電源の変動や落雷、ハウジング内の高温化などに耐えられるよう、電源電圧や温度の使用可能範囲を一般的なカメラよりも広くしています。

■ LAN 端子を搭載

Ethernet + WebUI でのメニュー設定が可能です。メニュー設定のバックアップが可能なため、カメラ交換時にもすぐに設定を反映できます。

H.264/H.265/JPEG での映像配信も可能で、ONVIF にも対応しています。

本製品は下記 URL に記載されている HEVC 特許の 1 つ以上の請求項の権利範囲に含まれています。
patentlist.accessadvance.com

この取扱説明書の見かた

■ 本文中の記号の見かた

ご注意 : 操作上の注意が書かれています。

メモ : 機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。

P. : 参考ページを示しています。

■ 本書記載内容について

- 最新の取扱説明書やファームウェアは、ホームページの各種ダウンロードでご確認ください。
ホームページ: <https://www.jvc.com/jp/pro/>
- 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、または全部を弊社に無断で転載、複製などを行なうことは禁じられています。
- Windows、Microsoft Edge、Windows Media Player は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- QR コードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。
- 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書では™、®、©などのマークは省略してあります。
- 本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容については、改善のため予告なく変更することがあります。
- 本書で使われている画面は、実際のものとは異なる場合があります。

■ 取扱説明書の構成

本機の取扱説明書は、次の構成になっています。

名称	内容
スタートアップガイド	本機の運用開始に必要な設置、接続、および設定方法について説明しています。本機に付属しています。また、弊社ホームページからダウンロード、閲覧もできます。
取扱説明書(本書)	本機の設置・接続方法および、運用に必要な設定・操作方法について説明しています。
オンラインマニュアル	取扱説明書の内容をスマートフォン、タブレット、パソコンなどで閲覧できます。 https://manual3.jvckenwood.com/jkpi/manual/jp

はじめに

もくじ

はじめに

特長	2
この取扱説明書の見かた	3
もくじ	4

設置・接続

各部の名称とはたらき	7
90 度ローテーションしてハウジングに設置する場合	9
レンズの取り付け	10
落下防止ワイヤーを本機に取り付ける	11
本機の取り付け	11
[VIDEO OUT] 端子にモニターを接続する	13
設定にあたって	14

設置時の基本設定

メニュー操作	16
モニターモードを設定する	17
モニターの縦設置	18
映像の反転	18
フォーカスを調整する	19
画角を微調整する	21
WDR(ワイドダイナミックレンジ)モードを設定する	21

メニュー設定

メニュー項目一覧	25
WDR(ワイドダイナミックレンジ)モードを詳細に設定する【2.WDR モード】	26
映像の設定を変更する【6.映像設定】	29
画面内表示の変更を行なう【7.カメラ設定】	32
システム設定・確認を行なう【8.システム】	34

はじめに

IP 接続

はじめに	37
本機とパソコンを接続する	39
パソコンの映像について	41
ネットワーク配信についてのご注意	41
ビューワー画面について	43
設置時の設定をする【カメラ制御パネル】	44
ビューワーから静止画・動画を保存する／ビューワーを全画面表示にする(ツールバー)	48
設定画面を表示する／ログアウトする／エンコーダーを選択する(ツールバー)	49
設定の保存方法	49

映像／カメラの設定をする

映像設定をする【映像設定】	50
エンコーダーの設定をする【エンコーダー設定】	51
カメラタイトルを設定する／時刻を表示する／機器名称を設定する【カメラタイトル】	55
プライバシーマスクを入れる【プライバシーマスク】	57
レンズの設定をする【レンズ設定】	58

ネットワークの設定をする

ネットワーク接続の設定【ネットワーク設定】	60
ネットワーク認証設定【HTTP／HTTPS／RTSP】	62
アクセス制限する【アクセス制限】	64
マルチキャストの設定をする【マルチキャスト】	65
ネットワーク監視を設定する【SNMP】	66

イベント/通知の設定をする

イベント通知の設定をする【イベント設定】	70
メールの送信先を設定する【メール設定】	76
TCP／UDP／HTTP の通知先を設定する【通知設定】	78

システムの設定・確認をする

時刻を合わせる【時刻】	81
ユーザー権限、パスワードの設定をする【ユーザー】	82
アクセス権について	85
一定時間操作がないときメニューを消す／同軸通信機能の設定をする ／スケジュールに従って再起動を行なう【サポート機能】	87
システムログを表示・更新・ダウンロードする【システムログ】	89
各メニューの現在の設定値を表示する【機器情報】	91

はじめに

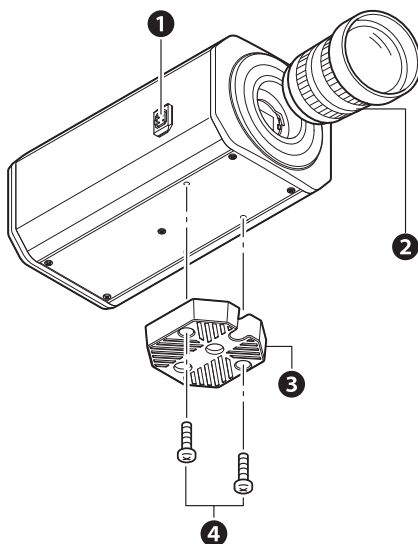
配信ビットレート／配信数／配信先情報を表示する【動作状況】 92

ソフトウェア使用許諾契約・ソフトウェア通知・FOSS リストを表示する【ライセンス】 93

メンテナンスする 94

各部の名称とはたらき

■ 正面



① [IRIS]端子

DC IRIS レンズの場合、レンズケーブルを接続します。

② CS マウントレンズ(別売)

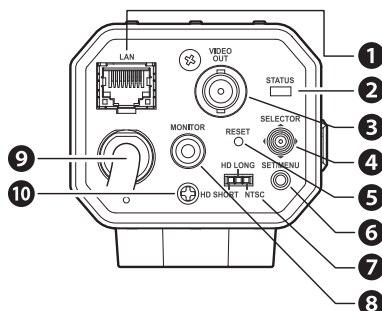
レンズの取り付け方については、“レンズの取り付け”(P.10)を参照ください。

③ カメラ取付ブラケット

カメラ取付ブラケットは、出荷時本機下面に付いています。本機上面に付け替える場合は、“本機の取り付け”(P.11)を参照ください。

④ カメラ取付ブラケット固定ねじ(M2.6mm×6mm)

■ 背面



① [LAN]端子(RJ-45)

LAN ケーブルでパソコンやネットワーク機器に接続し、メニューの操作や映像表示などができます。カテゴリ 5e 以上/100m 以下の LAN ケーブルでパソコンやネットワーク機器に接続してください。PoE は非対応です。

② [STATUS]LED

カメラ起動中は緑／橙色に点滅します。点灯に切り替わった後、カメラメニュー操作、Web ブラウザからのアクセスが可能になります。

緑色:HD 出力、オレンジ色:NTSC 出力

③ [VIDEO OUT] 端子(BNC)

BNC ケーブルでモニターの映像入力端子に接続し、映像を表示します。

接続方法については、“[VIDEO OUT] 端子にモニターを接続する” (P.13) を参照ください。

④ [SELECTOR]スイッチ

メニューをモニター上で操作するときに使用します。

⑤ [RESET]スイッチ

本機の設定の初期化を行ないます。10 秒以上長押しすると設定の初期化を実行します。

初期化動作がはじまると STATUS LED が点滅状態に変わります。

⑥ [SET/MENU]ボタン

3 秒以上長押しするとメニューがモニターに表示されます。押すことで選択したメニューを実行します。

⑦ [VIDEO OUT] 端子出力切替スイッチ

[VIDEO OUT] 端子の映像出力を切り替えます。

＜設定値＞ HD SHORT、HD LONG、NTSC ＜初期値＞ HD SHORT

設定方法は、“[VIDEO OUT] 端子にモニターを接続する” (P.13) を参照ください。

⑧ [MONITOR]端子(RCA)

メニュー操作を [SELECTOR] スイッチと [SET/MENU] ボタンで行なうときに、手元の NTSC 調整用モニターに映像を表示します。

⑨ 電源コード(AC100V-AC115V)

本機に電源が供給されると、背面の [STATUS] LED が点灯します。モニターなどの接続機器をすべて接続してから電源コードを挿してください。

⑩ 落下防止ワイヤー取付用ねじ

落下防止ワイヤー(別売)を取り付ける場合に使用します。

落下防止ワイヤーは設置場所の構造物と絶縁できるように接続してください。

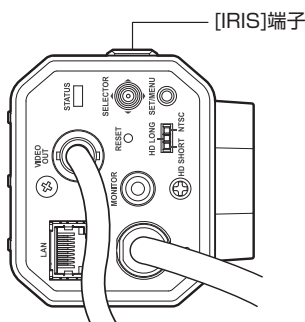
取り付け方については、“落下防止ワイヤーを本機に取り付ける”(P.11)を参照ください。

メモ:

本機を取り付ける前に設置場所に応じてケーブルが傷つかないようにケーブルを処理してください。

90度ローテーションしてハウジングに設置する場合

モニターを縦置き設置で使用する場合は、必ず[IRIS]端子が天井側になるよう本機を90度回転して設置してください。設置には別売のブラケットなどの取付金具が必要です。



ご注意:

- 静電気からの保護

袋から本機を取り出す前に必ず[VIDEO OUT]端子の金属面を触り、体に帯電した静電気を放電してください。静電気により本機が故障する場合があります。

- 保護めがねの着用

天井へ取り付けるときは、落下物から目を保護するため、必ず保護めがねを着用してください。

- 縦位置設置にした場合のビューワー画面表示はエンコーダー1とエンコーダー2のみに適用されます。

エンコーダー3は常に横位置(通常)設置の映像となります。

レンズの取り付け

本機の解像度性能を十分に引き出すために、高解像度に対応したレンズをご使用ください。

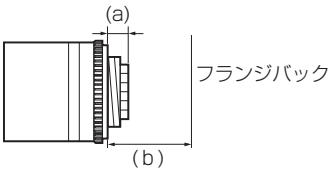
1 レンズ取り付け前に使用レンズのマウント方式を確認します。

- 本機は CS マウント専用です。
- 下図に示すレンズ取り付け部分の寸法 (a) は、下表に示した値のものを使用してください。

レンズ	フランジバック(b)	寸法(a)
CS マウントレンズ	12.5mm	5.5mm 以下

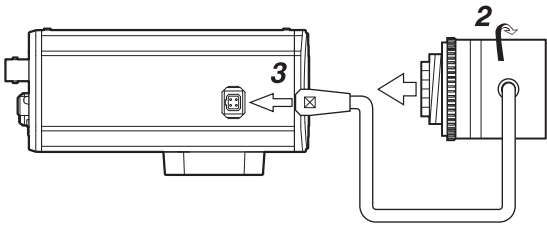
ご注意：――

- 寸法 (a) が長いものは本機内部を破損させたり、正常に取り付けができませんので、絶対に使用しないでください。故障の原因となります。



2 レンズを時計回りに回して確実に本機に取り付けます。

3 DC IRIS レンズの場合、レンズケーブルを本機側面の [IRIS] 端子に接続します。



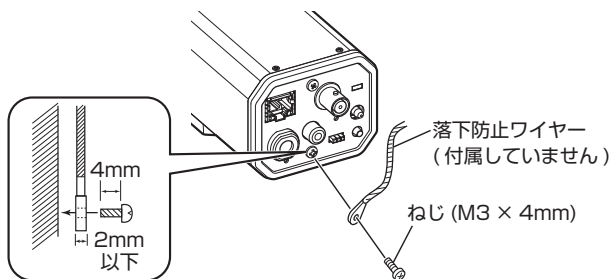
ご注意：――

- VIDEO IRIS レンズは使用できません。

落下防止ワイヤーを本機に取り付ける

落下防止ワイヤーは付属していません。

使用する落下防止ワイヤーは、設置箇所から長さ・強度・引き回し・材質(絶縁性)などを考慮して選定してください。



ご注意:

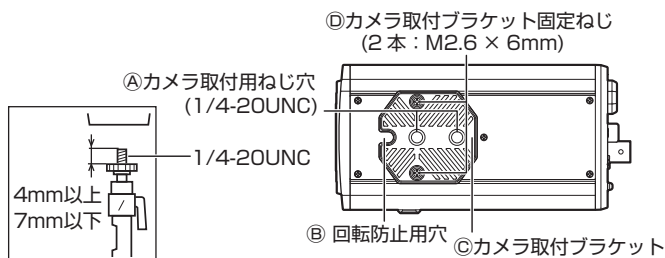
- 落下防止ワイヤーの取り付けは、本機背面のねじ(M3×4mm)を使用してください。4mm より長いねじを使用すると、内部を破損するおそれがあるので使用しないでください。

本機の取り付け

■ 本機をフィクサーや回転台などに取り付ける

◎カメラ取付ブラケットにある㊸カメラ取付用ねじ穴を使用します。(ねじの長さ 4mm 以上 7mm 以下 厳守)

また、落下防止のため㊹回転防止用穴にフィクサーや回転台などの突起をはめて確実に取り付けてください。



出荷時、◎カメラ取付ブラケットは本機下面に取り付けられていますが、上面に付け替える場合は、◎カメラ取付ブラケット固定ねじ 2 本ははずして付け替えます。ねじは確実に締めてください。

ご注意:

- ◎カメラ取付ブラケット固定ねじは別のねじを使用しないでください。別のねじを使用すると、完全に固定できない、または内部を破損するおそれがあります。

■ 落下防止ワイヤーを設置箇所に取り付ける

1 設置箇所の強度を確認する

落下防止ワイヤーは十分な強度がある場所に確実に固定してください。

2 確実に絶縁処理をする

落下防止ワイヤーは設置場所の構造物と絶縁できるように接続してください。構造物が金属の場合、カメラとの絶縁ができず、映像にノイズが入ることがあります。

[VIDEO OUT] 端子にモニターを接続する

本機を取り付ける前に設置場所に応じてケーブルが傷つかないように処理してください。

■ HD 出力を使用する場合

1 本機背面の[VIDEO OUT]端子出力切替スイッチの設定をする

HD SHORT : 5C-2V 同軸ケーブルでの伝送距離が 300m 未満の場合

HD LONG : 5C-2V 同軸ケーブルでの伝送距離が 300m 以上 500m 以下の場合

- フル HD モニター (LM-W213/LM-W212) を使用する
- マルチボックス (TS-AD2C1D) を使用し、モニター (LM-A シリーズ) で表示する

ご注意:

- 複数のモニターをループスルー接続する場合は最初に接続するモニターとの伝送距離に合わせて設定してください。ループスルー接続の詳細は、モニターの取扱説明書をご覧ください。
 - ループスルー接続するケーブルは、必ずモニターの入力端子に接続し、未接続状態（オープン状態）にならないように設置してください。
 - [VIDEO OUT] 端子出力切替スイッチで設定されている最大伝送距離を超えてモニターを接続している場合、映像が不鮮明になることがあります。
 - “カメラタイトルを設定する／時刻を表示する／機器名称を設定する【カメラタイトル】” (P.55) で設定した文字列で [MONITOR] 端子の映像に重畳される文字列は、モニターモード設定が 4:3 のとき、文字列表示設定によってはモニターの表示範囲外となることがあります。
-

■ NTSC 出力を使用する場合

1 本機背面の[VIDEO OUT]端子出力切替スイッチを[NTSC]に設定する

2 本機とモニターを接続する

マルチボックス (TS-AD2C1D) を使用する場合は本機とモニターの間にマルチボックスを接続してください。

3 コンセントに電源プラグを接続し、本機に電源を供給する

設定方法は、“モニターモードを設定する” (P.17) を参照ください。

設定にあたって

設定は、以下の 2 つの方法で行なうことができます。

■ 本機背面のスイッチを使ってアナログ映像のメニューをモニター上で操作する (アナログ方式)

- パソコンなしでの設置・設定が可能
- LM-W213/LM-W212(別売の弊社モニター)のカメラ調整用ワイヤレスリモコンから本機のメニュー操作が可能

■ 本機 LAN 端子とパソコンを IP 接続しパソコン画面上でカメラメニューを操作する(IP 方式)

- 映像の静止画・動画保存が可能
- メニュー設定のバックアップが可能
- 設置した状態でメニュー設定、最新ファームウェアへのアップデートが可能

アナログ方式でのメニュー操作方法・設定方法は、“メニュー操作”(P.16)を参照ください。

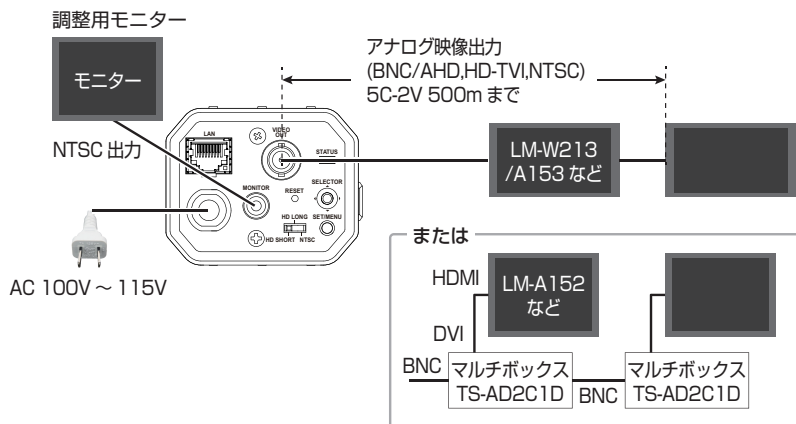
IP 方式でのメニュー操作方法・設定方法は、“ビューワー画面について”(P.43)を参照ください。

ご注意：――

- 設定変更の直後に電源を切らないでください。変更した設定内容が正しく保存されない場合があります。
-

設置・接続

アナログ方式 アナログモニターを接続して設定を行なうことができます。



IP 方式 パソコンから設定を行なうことができます。

ノートパソコン



Microsoft Edge を起動して IP アドレス
を入力してください。

＜工場出荷設定＞

IP アドレス：192.168.0.2

ログイン用 ID/ パスワード：

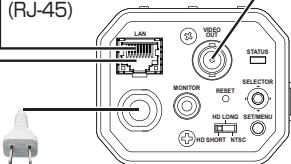
別紙『パスワード管理と初期パスワードに
ついて』を参照ください。

スイッチングハブ



※PoE による給電には
対応していません

10BASE-T/
100BASE-TX
(RJ-45)



デスクトップパソコン
(スイッチングハブなしで
直接カメラに接続も可能)

ネットワークレコーダー

LM-W213 /A153 など

または

HDMI LM-A152 など

DVI

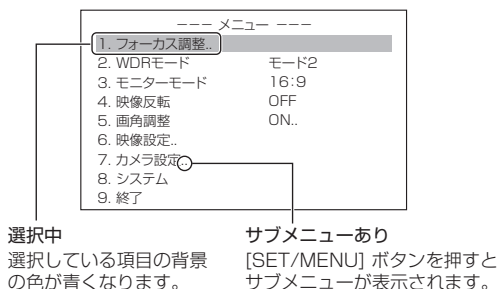
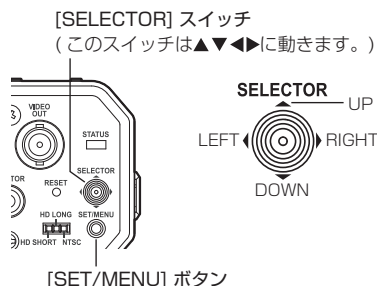
BNC マルチボックス TS-AD2C1D BNC マルチボックス TS-AD2C1D

表示用 NTSC/AHD モニターについて
(JVC LM-A/LM-W シリーズモニター推奨)
LM-W213/LM-W212 は本機のカメラ
メニュー調整がモニターのワイヤレスリモ
コン (別売) から行なえます。
LM-A152/172/192 使用時はマルチボッ
クス TS-AD2C1D をご使用ください。

設置時の基本設定

メニュー操作

メニュー操作方法について説明します。パソコンから操作する場合は“IP 接続” (P.37) を参照ください。



- 1 [SET/MENU] ボタンを 3 秒以上押す
[メニュー]が表示されます。
- 2 [SELECTOR] スイッチの[▲/▼/◀/▶]を押して、設定したい項目に合わせる
サブメニューがある項目(末尾に".. "のある項目)の場合は、[SET/MENU] ボタンを押して、サブメニューを表示します。
- 3 [SELECTOR] スイッチの[▲/▼/◀/▶]を押して設定値を変更する
- 4 設定が終了したら、[メニュー]画面の[9. 終了]を選択し、[SET/MENU] ボタンを押して[メニュー]を終了する
[メニュー]やサブメニューで[SELECTOR] スイッチや[SET/MENU] ボタンの操作が無い状態が続くと、約 5 分で自動的にメニュー表示が終了します。
その場合、変更した設定値は保存されます。

モニターモードを設定する

接続したモニターに合わせてモニターモードを設定します。
[メニュー]から[3.モニターモード]を選択します。

-----メニュー-----

1. フォーカス調整..

2. WDRモード

3. モニターモード

4. 映像反転

5. 画角調整

6. 映像設定..

7. カメラ設定..

8. システム

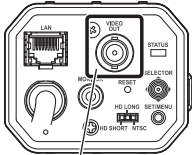
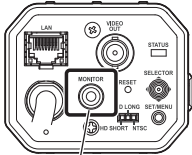
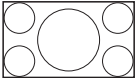
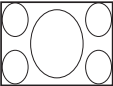
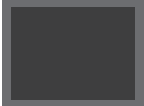
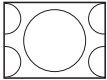
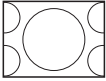
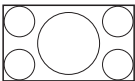
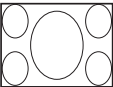
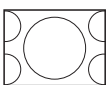
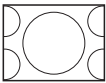
9. 終了

モード2

16 : 9

OFF

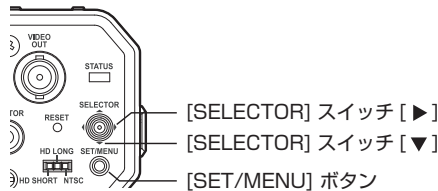
ON..

モニター 入力	[VIDEO OUT] 端子出力		[MONITOR] 端子出力
	 [VIDEO OUT] 端子		 [MONITOR] 端子
	出力モニター	映像出力イメージ	映像出力イメージ (4:3 NTSC モニターに接続したときの表示)
AHD	 16:9 LM-W213 など	フルHD 	スクイーズ 
	 4:3 LM-A シリーズ +マルチボックスなど	サイドカット  ※ モニター (LM-A シリーズ) の設定でアスペクトを「サ イドカット」に選択すると サイドカットで表示されま す	サイドカット 
NTSC	 16:9	ワイド表示 	スクイーズ 
	 4:3	サイドカット 	サイドカット 

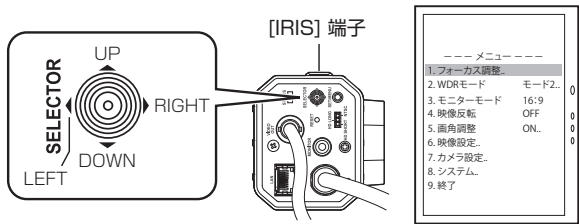
モニター縦設置

モニターの縦置き設置に合わせ、モニターにメニューを縦表示できます。

- 1 [SELECTOR]スイッチの[▶]または[▼]と、[SET/MENU]ボタンを同時に3秒以上押す
モニターの縦設置に対応した[メニュー]が表示されます。



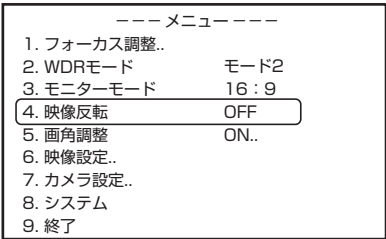
[SELECTOR]スイッチの方向はモニターの向きに合わせて下記のように変更されます。



映像の反転

設置後、映像を上下左右反転したい場合にご使用ください。左右反転(ミラー)／上下反転(フリップ)／上下左右反転／OFF が選択可能です。
メニュー表示の文字は反転しません。

[メニュー]から[4.映像反転]を選択します。



フォーカスを調整する

1 [フォーカス調整]画面を表示し、レンズのズームとフォーカスを調整する

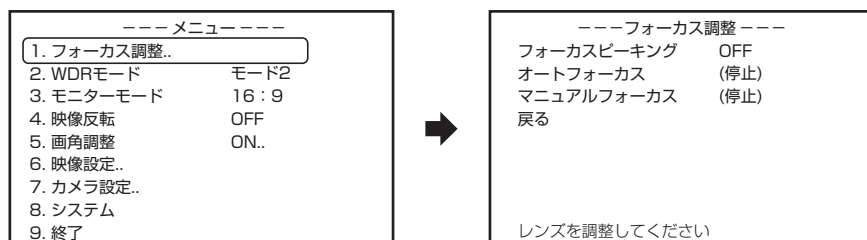
[メニュー]から[1.フォーカス調整]を選択します。

日中でも正確なフォーカス調整ができます。フォーカス調整モード中に、レンズのロックねじをゆるめてズームとフォーカスを調整してください。

[フォーカスピーキング]は[赤]または[青]のとき、設定した色が輪郭に付き、フォーカスを合わせやすくすることができます。[OFF]のときは色が付きません。

メモ:

- DC アイリスレンズを使用している場合、[フォーカス調整]画面表示中は強制的にアイリスを開放にし、被写界深度を浅くすることでフォーカスを合わせやすくします。このとき電子シャッターが働くので画面がチラチラする場合があります。



2 調整が終わったらレンズのズームとフォーカスのロックねじを固定する

3 微調整する場合は以下の方法で調整する

- 自動調整する場合

カーソルを[オートフォーカス]に合わせ、[SET/MENU]ボタンを押してフォーカスの自動調整を行います。

メモ:

- 被写体によっては正確にピントが合わない場合があります。

次のような場所を撮影する場合はフォーカスを自動で合わせにくいことがあります。

- 極端に明るい場所
- 極端に暗い場所
- 明るさが常に変化している場所(ライトの点滅・人が画面を横切るなど)
- コントラストがほとんどない場所
- 繰返しの縦じまパターンがある場合

- メニューから手動調整する場合

カーソルを[マニュアルフォーカス]に合わせ、[SELECTOR]スイッチの[◀/▶]を押して、マニュアル調整を行ないます。ピントを合わせる位置を近くするときは[◀]、遠くするときは[▶]を押してフォーカスを調整します。

- 4 調整が終了したら、[戻る]を選択し[SET/MENU]ボタンを押し、[フォーカス調整]画面を終了する
電源を切っても設定は保持されます。

設置時の基本設定

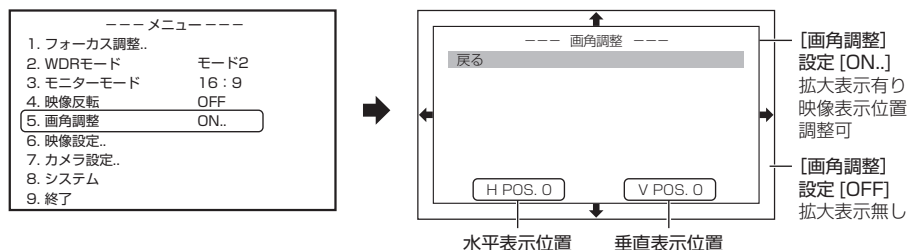
画角を微調整する

本機の向きを変えずに映像の画角を微調整できます。

[メニュー]から[5.画角調整]を選択します。

1 [5.画角調整]で[ON...]を選択し、[SET/MENU]ボタンを押して[画角調整]画面を表示する

2 [SELECTOR]スイッチの[▲/▼/◀/▶]を押して映像表示位置を調整する



設定した映像表示位置が画面下部に表示されます。

3 調整が終了したら、[戻る]を選択し[SET/MENU]ボタンを押し、[画角調整]画面を終了する
電源を切っても設定は保持されます。

メモ:

- 可変範囲: 水平方向 ± 30 、垂直方向 ± 16

範囲を超える調整が必要な場合は、カメラの設置位置を調整してください。

WDR(ワイドダイナミックレンジ)モードを設定する

■ WDR(ワイドダイナミックレンジ)モードとは

逆光補正機能により、照度差の大きい場所(逆光や西日などの影響を受けやすい屋外と屋内の出入り口や窓の近くなど)を撮影しても、同一画面内の明暗差の大きい被写体を鮮明にそして自然な状態で映すことができます。

■ 設定のポイント

駅ホームを撮影する場合、列車やホーム屋根に対する太陽光など明るい部分(逆光)の状況に応じて設定してください。暗い部分の映像を見やすくすることができます。また、設定時は使用環境下で映像を確認して設定してください。P.23 にあらかじめ逆光環境に合わせて[カスタム]のメニューをプリセットした[モード 1~3..]、[列番]の使用例を記載しています。

設置時の基本設定

[メニュー]から[2.WDR モード]を選択します。

OFF..

逆光補正を OFF にします。

カスタム..

WDR の各種設定を変更できます。

モード 1 ～ 3..

逆光により暗部が見えにくい場合、モードの数値を上げて
ください。

列番..

LED 表示の列番が文字欠けをして途切れたり、消えたりするときに設定してください。逆光補正は行
われません。

---メニュー---	
1. フォーカス調整..	
2. WDRモード	モード2
3. モニターモード	16 : 9
4. 映像反転	OFF
5. 画角調整	ON..
6. 映像設定..	
7. カメラ設定..	
8. システム	
9. 終了	

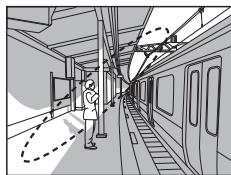
設置時の基本設定

■ WDR(ワイドダイナミックレンジ)モードの各モード使用例

モード1

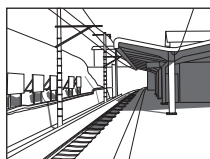
地下鉄などの屋内蛍光灯下の場面で設定します。

モード2

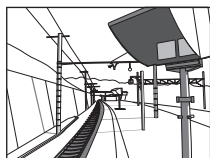


ホーム屋根と列車のすき間から、斜めに太陽光が差し込む場面で設定します。

モード3



ホーム奥半分が日陰で、手前はホーム屋根がなく、いつも太陽光が当たっている場面で設定します。



モニターが図のように設置されている場面でも、このモードに設定します。

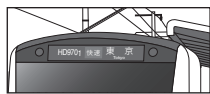
列番



LED 表示の列番が文字欠けをして途切れたり、消えたりするときに設定します。

ご注意

逆光補正は行なわれません。



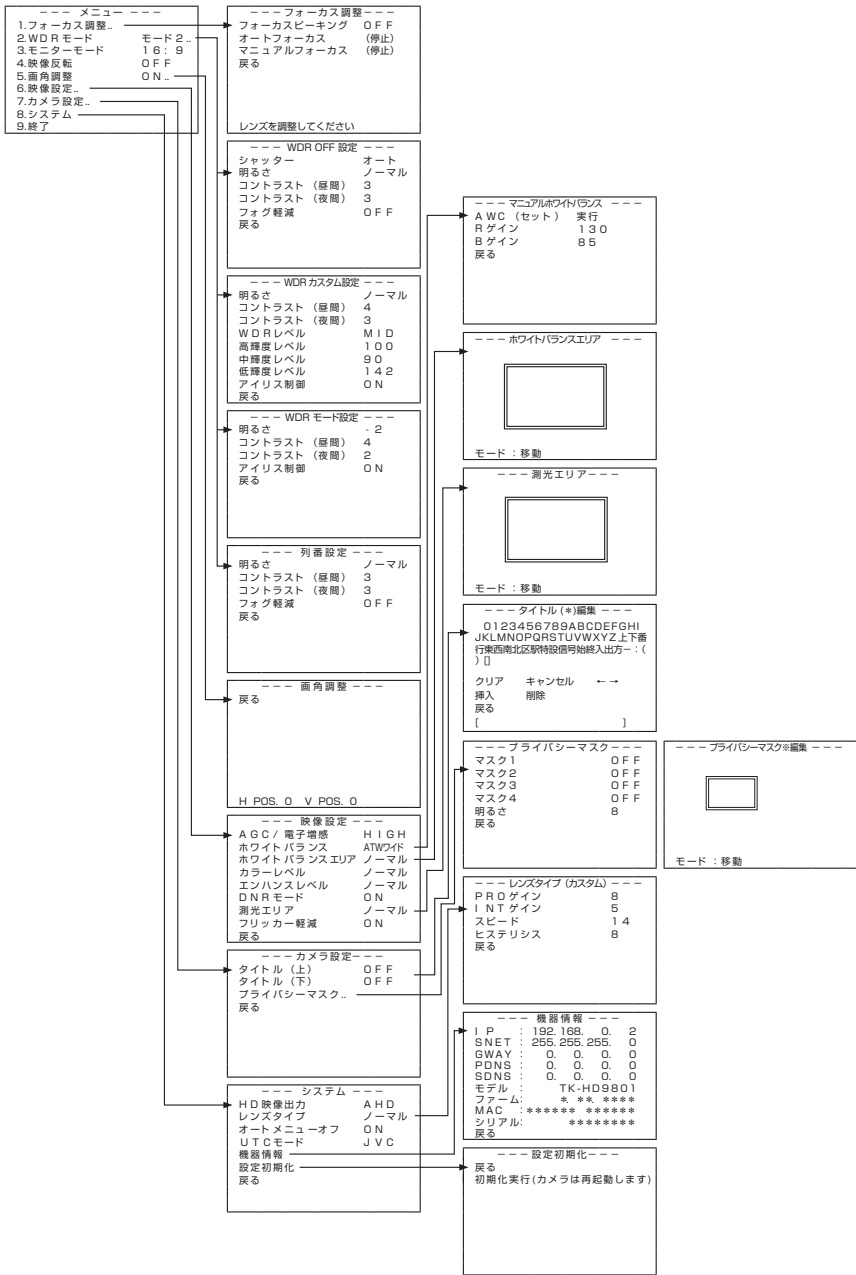
<[列番..]設定時イメージ>

設置時の基本設定

設置時の基本設定はここまでです。映像やシステムなど、より詳細な設定を行なう場合は次のページからのメニュー設定をご覧ください。

メニュー設定

メニュー項目一覧



WDR(ワイドダイナミックレンジ)モードを詳細に設定する【2.WDRモード】

■ モード

各モードについては、“WDR(ワイドダイナミックレンジ)モードを設定する”(P.21)を参照ください。

＜設定値＞ OFF... カスタム... モード 1...、モード 2...、モード 3... 列番..

＜初期値＞ モード 2..

---メニュー---	
1. フォーカス調整..	
2. WDRモード	モード2
3. モニターモード	16 : 9
4. 映像反転	OFF
5. 画角調整	ON..
6. 映像設定..	
7. カメラ設定..	
8. システム	
9. 終了	

■ OFF【WDR OFF 設定】

逆光補正を OFF にします。

[SET/MENU] ボタンを押すと、[WDR OFF 設定] 画面が表示されます。

シャッター

明るさが変化するような設置場所では[シャッター]をオートに設定します。

[フリッカー軽減]を ON にした場合、[シャッター]は自動的に 1/100 に固定されます。

＜設定値＞ オート、1/30、1/60、1/100、1/250、1/500、1/1000、1/2000、1/4000、1/10000

＜初期値＞ オート

--- WDR OFF 設定 ---	
シャッター	オート
明るさ	ノーマル
コントラスト(昼間)	3
コントラスト(夜間)	3
フォグ軽減	OFF
戻る	

明るさ

映像全体をより明るくするときに[明るさ]を大きくし、映像全体をより暗くするときに[明るさ]を小さくします。設定値を大きくするとノイズが目立つことがあります。

＜設定値＞ -10 ～ ノーマル～ 10 ＜初期値＞ ノーマル

コントラスト(昼間)

昼間の映像の見え方を調整します。数値を大きくすると暗部が見やすくなります。

＜設定値＞ 1 ～ 8 ＜初期値＞ 3

コントラスト(夜間)

夜間の映像の見え方を調整します。数値を大きくすると暗部が見やすくなります。

＜設定値＞ 1 ～ 3 ＜初期値＞ 3

フォグ軽減

被写体が霧や粉塵の多い環境で見えにくい場合の鮮明度を改善する効果があります。

撮影環境によっては効果が現れにくい場合や、画面にザラつきが発生することがありますが、故障ではありません。

＜設定値＞ OFF、LOW、MID、HIGH ＜初期値＞ OFF

メニュー設定

■ カスタム..[WDR カスタム設定]

ワイドダイナミックレンジを手動調整します。[SET/MENU] ボタンを押すと、[WDR カスタム設定] 画面が表示されます。

明るさ

[WDR OFF 設定]の[明るさ]の項目を参照ください。

＜設定値＞ -10 ～ ノーマル ～ 10

＜初期値＞ ノーマル

コントラスト(昼間)

昼間の映像の見え方を調整します。数値を大きくすると暗部が見やすくなります。

＜設定値＞ 1 ～ 8 ＜初期値＞ 4

コントラスト(夜間)

夜間の映像の見え方を調整します。数値を大きくすると暗部が見やすくなります。

＜設定値＞ 1 ～ 3 ＜初期値＞ 3

WDR レベル

値を大きくするとダイナミックレンジが大きくなります。

＜設定値＞ LOW、MID、HIGH ＜初期値＞ MID

高輝度レベル

値を大きくすると高輝度領域の Y レベルが上がります。

＜設定値＞ 0 ～ 511 ＜初期値＞ 100

中輝度レベル

値を大きくすると中輝度領域の Y レベルが上がります。

＜設定値＞ 0 ～ 255 ＜初期値＞ 90

低輝度レベル

値を大きくすると低輝度領域の Y レベルが上がります。

＜設定値＞ 0 ～ 511 ＜初期値＞ 142

アイリス制御

[ON] で自動アイリス制御を行ないます。

[OFF] のときはアイリスフルオープンになります。

＜初期値＞ ON

--- WDR カスタム設定 ---	
明るさ	ノーマル
コントラスト(昼間)	4
コントラスト(夜間)	3
WDRレベル	MID
高輝度レベル	100
中輝度レベル	90
低輝度レベル	142
アイリス制御	ON
戻る	

メニュー設定

■ WDR モード 1～3 設定

WDR 設定のプリセットモードです。逆光により暗部が見えにくい場合、モードの数値を上げてください。モードごとに対象となる逆光環境が異なります。“WDR(ワイドダイナミックレンジ)モードを設定する”(P.21)を参照ください。

[明るさ]、[コントラスト(昼間)]、[コントラスト(夜間)]、[アイリス制御]とも機能・設定値の範囲は [カスタム.. (WDR カスタム設定)]と同じです。
初期値は以下の通りです。

---- WDR モード 設定 ----	
明るさ	- 2
コントラスト(昼間)	4
コントラスト(夜間)	2
アイリス制御	ON
戻る	

モード	1	2	3
明るさ	-5	-2	-1
コントラスト(昼間)	3	4	5
コントラスト(夜間)	3	2	2
アイリス制御	ON	ON	ON

■ 列番設定

LED 表示の列番が文字欠けをして途切れたり、消えたりするときに設定してください。

明るさ
映像全体をより明るくするときには[明るさ]を大きくし、映像全体をより暗くするときには[明るさ]を小さくします。設定値を大きくするとノイズが目立つことがあります。
<設定値> -10 ～ ノーマル～ 10
<初期値> ノーマル

---- 列番設定 ----	
明るさ	ノーマル
コントラスト(昼間)	3
コントラスト(夜間)	3
フォグ軽減	OFF
戻る	

[コントラスト(昼間)]、[コントラスト(夜間)]とも機能・設定値の範囲は [カスタム.. (WDR カスタム設定)]と同じです。
<初期値>コントラスト(昼間):3、コントラスト(夜間):3
[フォグ軽減]の機能・設定値の範囲は [OFF【WDR OFF 設定】]と同じです。
<初期値> OFF

映像の設定を変更する【6.映像設定】



■ 設置箇所が暗くなることがあり、明るくしたい

AGC/電子増感

AGC(オートゲインコントロール)を設定します。(x)は電子増感の倍率です。明るくなりますが、残像感が出ます。

＜設定値＞ OFF、LOW、MID、HIGH、HIGH(x2)、HIGH(x4)、HIGH(x8)、HIGH(x16)、HIGH(x32)

＜初期値＞ HIGH

■ 設置箇所の照明の色が変わることがある／映像の色が不自然

ホワイトバランス

照明の色温度に合わせてホワイトバランスを調整します。

＜設定値＞

- ATW ワイド : 広い照明の色温度(2,500K ～10,000K 以上)の範囲に対応して自動的にホワイトバランスを調整します。
- AWC.. : [SET/MENU] ボタンを押すと[マニュアルホワイトバランス]画面を表示します。
- ATW : 照明の色温度(3,000K ～ 8,000K 以上)に対応して自動的にホワイトバランスを調整します。

＜初期値＞ ATW ワイド

マニュアルホワイトバランス

ホワイトバランス固定で手動調整したい場合に設定します。

- AWC (セット) : [SET/MENU] ボタンを押すとワンプッシュホワイトバランスを実行(ホワイトバランスを自動調整)して、結果を[R ゲイン]と[B ゲイン]に反映します。
- R ゲイン : R(赤)の色相を調整します。数値が大きいほど赤みが強くなります。
＜設定値＞ 0 ～ 255 ＜初期値＞ 130
- B ゲイン : B(青)の色相を調整します。数値が大きいほど青みが強くなります。
＜設定値＞ 0 ～ 255 ＜初期値＞ 85

メニュー設定

■ [ホワイトバランス]で調整しきれない

ホワイトバランスエリア

ホワイトバランスの調整対象エリアを設定します。[カスタム]でエリア指定することで、より詳細な設定ができます。

＜設定値＞

- ノーマル : ホワイトバランスの対象エリアを全画面に設定します。
- カスタム.. : [SET/MENU] ボタンを押すと[ホワイトバランスエリア]画面を表示します。
編集したエリアをホワイトバランスの対象エリアにします。

＜初期値＞ノーマル

■ ホワイトバランスエリア(カスタム)を編集する

1 [ホワイトバランスエリア]画面でホワイトバランスの対象エリアに枠を合わせる

[SET/MENU] ボタンを押すごとにエリア設定の枠が白→緑→赤→灰色→白と変化するので、下記のように枠を調整します。

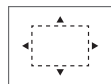
● 枠が白のとき：

[▲/▼/◀/▶]
で枠を移動する



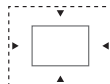
● 枠が緑のとき：

[▲/▼/◀/▶]
で枠を大きくする



● 枠が赤のとき：

[▲/▼/◀/▶]
で枠を小さくする



● 枠が灰色のとき：

[▲/▼/◀/▶] どれかで設定を
保存し上位ページに戻る

2 エリア設定が終了したら、枠が灰色の状態で[▲/▼/◀/▶]ボタンのいずれかを押して、[映像設定]画面に戻る

メモ：――

- 本体メニュー(アナログ方式)で設定できるエリアとブラウザの設定画面(IP方式)で設定できるエリアの大きさに誤差があるため、ブラウザで規定サイズ以下に設定した場合、本体メニュー(アナログ方式)でエリア設定を表示したときにエリアが大きく表示されることがあります。

■ 映像の色が濃すぎる／薄すぎる

カラーレベル

映像信号の色レベルを調整します。色を濃くするときは数値を大きくし、色を薄くするときは数値を小さくします。色の濃い被写体の場合、ノイズが見えることがあります。その場合は[カラーレベル]設定を下げて使用してください。

＜設定値＞ -5 ～ ノーマル ～ 5

＜初期値＞ノーマル

メニュー設定

■ 映像がぼやけている／シャープすぎる

エンハンスレベル

映像の鮮明さを強調する輪郭補正を調整します。輪郭をシャープにしたいときは数値を大きくし、輪郭をソフトにしたいときは数値を小さく設定します。暗所でのノイズもはっきりさせる効果があります。

<設定値> -5 ～ ノーマル ～ 5 <初期値> ノーマル

■ 暗いときのノイズが多い

DNR モード

ノイズを抑えて撮影します。[ON]に設定するとノイズ軽減効果が上がりますが、動きのある被写体では残像が生じやすくなります。

<設定値> OFF、ON <初期値> ON

■ WDR 設定で逆光補正しきれないとき測光エリアを指定する

測光エリア

画面内のエリアを決め、そのエリアに合わせた露光設定を自動で行ないます。

<設定値>

- ・ ノーマル : エリアを指定せずに全画面で測光します。
- ・ カスタム.. : [SET/MENU] ボタンを押すと[測光エリア]画面を表示します。編集したエリアをもとに測光します。測光エリア(カスタム)の編集方法は“ホワイトバランス エリア(カスタム)の編集方法”(P.30)と同じです。

<初期値> ノーマル

メモ: _____

- NTSC 出力時、[モニターモード]を[4:3]に設定した状態で測光エリアを画面外に設定すると[範囲外]と表示されます。画面外に測光エリアを設定しないでください。
- 本体メニュー(アナログ方式)で設定できるエリアとブラウザの設定画面(IP 方式)で設定できるエリアの大きさに誤差があるため、ブラウザで規定サイズ以下に設定した場合、本体メニュー(アナログ方式)でエリア設定を表示したときにエリアが大きく表示されることがあります。

■ 蛍光灯がちらつく(フリッカーする)ときや、表示灯などが消えて見えないとき

フリッカー軽減

蛍光灯下でのフリッカー(ちらつき)を軽減するときに ON に設定します。

<設定値> OFF、ON <初期値> ON

メモ: _____

- [WDR モード]設定が[列番..]のときは[OFF]に設定されます。
- 蛍光灯の種類や撮影する画角によってはフリッカーが発生する場合があります。

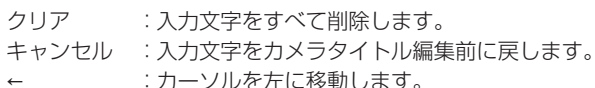


<初期値> OFF

■ カメラタイトルの編集方法

1 [カメラタイトル編集]画面で文字を入力する

入力可能文字と文字の出現の順番は次のとおりです。



メニュー設定

- : カーソルを右に移動します。
- 挿入 : カーソル位置にスペースを挿入します。
- 削除 : カーソル位置の文字を削除します。

2 文字の入力が終わったら、[カメラ設定]画面に戻る

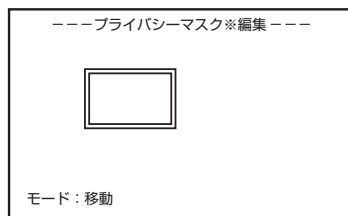
[SELECTOR]スイッチの[▲/▼/◀/▶]を押して[戻る]を選択し、[SET/MENU]ボタンを押します。

■ 映像の表示エリア内の撮影したくない箇所を隠す

プライバシーマスク

撮影画面の中で、写したくない部分を設定し、その部分をマスキングして映さないようにします。

- マスク 1 ～ 4 : マスク 1 ～ 4 それぞれの番号で、プライバシーマスクが個別に設定できます。
マスクは最大で 4 か所に設定できます。
<設定値> OFF、ON... <初期値> OFF



プライバシーマスクの編集方法は“ホワイトバランスエリア(カスタム)の編集方法”(P.30)と同じです。

- 明るさ : マスクの明るさを設定します。
<設定値> 0～10 <初期値> 8

メモ:

- 本体メニュー(アナログ方式)で設定できるマスクとブラウザの設定画面(IP方式)で設定できるマスクの大きさに誤差があるため、ブラウザで規定サイズ以下に設定した場合、本体メニュー(アナログ方式)でマスク設定を表示したときにマスクが大きく表示されることがあります。
-

システム設定・確認を行なう【8.システム】

----メニュー----	
1. フォーカス調整..	
2. WDRモード	モード2
3. モニターモード	16:9
4. 映像反転	OFF
5. 画角調整	ON..
6. 映像設定..	
7. カメラ設定..	
8. システム	
9. 終了	



----システム----	
HD映像出力	AHD
レンズタイプ	ノーマル
オートメニューオフ	ON
UTCモード	JVC
機器情報	
設定初期化	
戻る	

■ HD 映像出力方式を選択する

HD 映像出力

カメラ出力の HD 映像出力方式の設定をします。モニターなどの接続機器に合わせて設定してください。

<設定値> AHD、HD-TVI <初期値> AHD

ご注意：――

- レコーダーなどの接続機器によって AHD/HD-TVI の自動認識機能を持つものもありますが、電源 OFF/ON や信号切り替え時に誤動作することがあります。このため、カメラの HD 映像出力設定に合わせ、接続機器側の入力信号設定を AHD/HD-TVI に設定してください。

■ レンズ(アイリス)の応答速度を調整する

レンズタイプ

取り付けたレンズに合わせてレンズタイプを選択します。

<設定値>

- ノーマル ： 当社指定の推奨レンズに適しています。推奨レンズについては、販売店または当社カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。
- カスタム.. ： レンズ(アイリス)の応答速度を調整できます。

<初期値>ノーマル

ご注意：――

- PRO ゲイン/INT ゲイン/スピード/ヒステリシスをご使用のレンズの応答速度に合わせて調整できていないと、レンズ(アイリス)が短時間に開閉を繰り返すハンチング現象が発生する場合があります。[カスタム..]にしてレンズ(アイリス)の応答速度を調整してください。

メニュー設定

■ レンズタイプを手動調整する

カスタム..

[SET/MENU] ボタンを押すと、[レンズタイプ(カスタム)] 画面が表示されます。

• PRO ゲイン

数値を大きくするとレンズ(アイリス)の応答が遅くなります。

<設定値> 1 ~ 255 <初期値> 8

• INT ゲイン

数値を大きくするとレンズ(アイリス)の応答が早くなります。

<設定値> 0 ~ 255 <初期値> 5

• スピード

数値を大きくするとレンズ(アイリス)の応答が早くなります。

<設定値> 0 ~ 255 <初期値> 14

• ヒステリシス

数値を大きくするとレンズ(アイリス)の応答が遅くなります。

<設定値> 0 ~ 255 <初期値> 8

--- レンズタイプ (カスタム) ---

PROゲイン	8
INTゲイン	5
スピード	14
ヒステリシス	8
戻る	

■ 一定時間操作がないときに OSD メニュー表示を消す

オートメニューオフ

ON に設定することで、OSD メニューが 5 分間操作されなかったとき、OSD メニューを非表示にします。

<設定値> OFF、ON <初期値> ON

■ 同軸通信の設定をする

UTC モード

同軸通信の設定をします。同軸通信は、HD 映像出力が AHD のときに限り可能です。

<設定値>

- OFF : 同軸通信を行ないません。
- JVC : LM-W213/LM-W212 モニターの同軸通信方式で動作します。
- PELCO : PELCO プロトコルで同軸通信を行ないます。

<初期値> JVC

メニュー設定

■ 同軸通信の設定をする

機器情報...

下表のとおり、機器の情報を表示します。

項目	表示内容
IP	本機の IP アドレス
SNET	サブネットマスク
GWAY	デフォルトゲートウェイのアドレス
PDNS	プライマリー DNS のアドレス
SDNS	セカンダリー DNS のアドレス
モデル	モデル名
ファーム	ファームウェアバージョン
MAC	本機の MAC アドレス
シリアル	本機のシリアル番号

■ 設定の初期化をする

設定初期化...

[初期化実行]を選択し、[SET/MENU]を押すとユーザーメニューの設定値の初期化が実行されます。
初期化が終了すると、本機は自動で再起動します。

メモ：_____

- アナログ方式での設定初期化は“ネットワーク接続の設定【ネットワーク設定】”(P.60)の内容を含みません。

ここまでがアナログ方式でのカメラメニューの設定方法です。

IP 接続

はじめに

ここからはパソコンに接続して使用する場合(IP 方式)の接続方法です。

■ IP 方式の利点

本機背面の LAN 端子をパソコンに接続することで、パソコンでカメラメニューの設定、静止画保存・設定のバックアップ、他のネットワーク機器への接続などができます。

■ 動作環境

以下の表は本機の使用に必要な最低限の動作環境を示しています。この環境を満たすハードウェアやソフトウェアの使用をおすすめします。

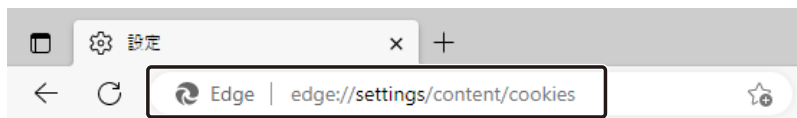
システムハードウェア	
CPU	第 8 世代 Intel Core i5 2.7 GHz 以上
RAM	8 GB 以上
ディスプレイ	1920×1080 ピクセル以上、True Color(24 ビット／32 ビット)
システムソフトウェア	
オペレーティングシステム	Windows 10 (64 bit)
ブラウザ	Microsoft Edge(バージョン 110.0.1587.69 以降)
ネットワーク	
有線	10BASE-T／100BASE-TX イーサネット(RJ-45 コネクター)
映像の再生	
本機のビューワーの録画ボタンで録画した映像については、下記のプレーヤーで再生を確認しています。	
Windows 10 Windows Media Player(バージョン:12)	

■ パソコンの設定変更をする

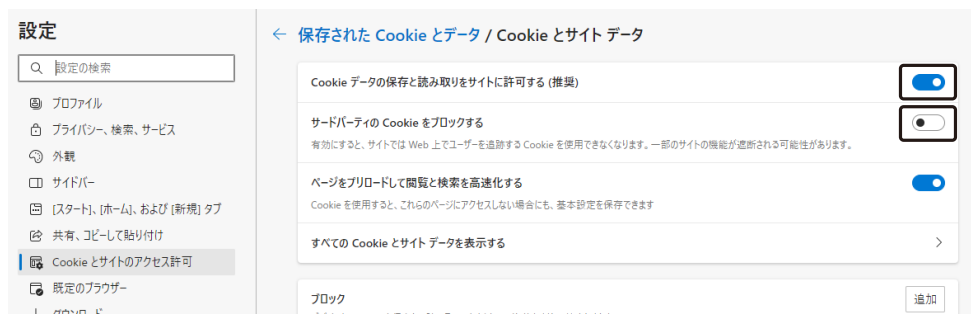
本機が撮影する映像は複数のブラウザで確認することが可能です。映像の確認には、下記の手順で表示を有効にすることが必要です。

1 Cookie を有効にする

Microsoft Edge でアドレスバーに `edge://settings/content/cookies` を入力して[enter]キーを押します。(「Cookie とサイトのアクセス許可」>「Cookie とサイトデータの管理と削除」を開きます)



「保存された Cookie とデータ/Cookie とサイトデータ」で、「Cookie データの保存と読み取りをサイトに許可する(推奨)」をチェックし、「サードパーティの Cookie をブロックする」のチェックをはずします。



2 プロキシサーバーを使用する場合は、プロキシサーバーの設定を行なう

本機とパソコンを接続する

この手順の説明は、下記の環境で行なっています。

オペレーティングシステム: Windows 10 Pro (64 bit)、ブラウザ: Microsoft Edge

■ パソコンとの接続

- 1 本機とパソコンが同一のサブネット(工場出荷時 255.255.255.0)にあることを確認する
- 2 工場出荷時の IP アドレス“192.168.0.2”を使って本機とパソコンがネットワーク接続されていることを確認する
 - 確認方法(省略可)
「コマンドプロンプト」を起動します。“ping 192.168.0.2”と入力し、ネットワーク接続されていると、“~からの応答”というメッセージが表示されます。
- 3 Microsoft Edge を起動してアドレス欄に“192.168.0.2”を入力する
- 4 ログイン画面が表示されます。ユーザー名とパスワードを入力してサインインする
工場出荷時のユーザー名とパスワードは別紙『パスワード管理と初期パスワードについて』をご確認ください。
サインインするとビューワー画面が表示されます。

このサイトにアクセスするにはサインインしてください

http://192.168.0.2 では認証が必要となります
このサイトへの接続は安全ではありません

ユーザー名

パスワード



- 当社ホームページのお問い合わせ・サポート内の[各種ダウンロード] – [ソフトウェアダウンロード]から[IP 設定ツール]をダウンロードして、ネットワーク内の本機を検索することができます。
ホームページ: <https://www.jvc.com/jp/pro/>
- Microsoft Edge は管理者として実行してください。
- 工場出荷時のユーザー名とパスワードは広く公開されているため、変更せずに使用していると大変危険です。容易に推測されない大小英数字を組み合わせたユーザー名とパスワードに設定してください。パスワードの変更方法は“ユーザー権限、パスワードの設定をする【ユーザー】”(P.82)を参照ください。
- パスワードを忘れた場合は、本機背面の[RESET]スイッチを 10 秒以上長押しすることで、パスワードを含めた本機の設定を初期化できます。

IP 接続

■ IP アドレス(工場出荷値)

本機はネットワーク接続を前提としていますので、IP アドレスを最初に割り当てる必要があります。本機の工場出荷設定での IP アドレスは 192.168.0.2、サブネットマスクは 255.255.255.0 となっています。ご使用のネットワーク環境に合わせ、IP アドレス／サブネットマスクを変更してください。なお、DHCP サーバーから自動的に IP アドレスを割り当てる運用の場合には、[ネットワーク] - [ネットワーク設定] - [ネットワークタイプ] - [IP 設定] で“DHCP”を選択してください。

パソコンの映像について

■ Microsoft Edge での映像表示について

Microsoft Edge の映像表示は遅延したり、コマ落ちして見えたりすることがあります。本機から配信されるデータは使用しているパソコンで動作するハードウェアアクセラレータでのデコードが適用されません。Microsoft Edge でのソフトウェアデコードが適用されるため、遅延やコマ落ちして見えることがあります。本機から配信されるデータに欠損はないため、レコーダーの記録映像などでは、遅延やコマ落ちして見えることはありません。

■ ログイン画面やビューワー画面が表示されないときは

原因	対応
クライアントパソコンが HTTP で本機へアクセスする場合のポート番号の指定は合っていますか？（ポート番号が間違っている場合は、接続できません。）	ブラウザの HTTP ポートの値に、本機の[ネットワーク]－[HTTP(S)/RTSP]の HTTP サーバーポートと同じ値を指定してください。
推奨環境を使用していますか？	“動作環境”（P.37）をご確認ください。
動作状況ページの配信先が 20 を超えていませんか？	システム設計を見直してください。

ネットワーク配信についてのご注意

■ ネットワークについて

- 本機が送信するデータ量に対して十分なネットワーク帯域を確保してください。また、帯域を超えるマルチキャストストリームを流さないでください。マルチキャストストリームによって帯域が専有されると、ネットワーク経由で本機を制御できなくなる場合があります。
- 本機が送信するデータ量は設定や配信数によって異なります。
- 送信できるビットレートの上限は 40Mbps 未満で、最大 20 クライアントまで同時配信可能です。
- 同一エンコーダーから映像配信を複数行う場合、フレームレートの合計が 240fps 以下になるよう設定してください。

■ JPEG のファイルサイズ

本機の JPEG エンコーダーは、JPEG の画質設定に合わせてエンコード時の量子化テーブルを一定に保つため、ファイルサイズはエンコードの設定だけでなく、カメラ映像に応じて増減します。設定できるファイルサイズについては、P.53 を参照ください。

■ H.264／H.265 ストリームのビットレート

H.264／H.265 ストリームのビットレート方式は、**VBR**(可変ビットレート)または**CBR**(固定ビットレート)のいずれかの方式を選択できます。**VBR** 方式はカメラ映像の状況に応じてビットレートが変化します。**VBR** 方式の場合、画質は安定しますが、ビットレートの予測が困難です。**VBR** 設定時はビットレート設定を超えたデータ量で出力することがあるため、ネットワーク設計やレコーダーの記録媒体の容量に注意してください。**CBR** 方式はカメラ映像の状況に関係なく、一定のビットレートでエンコードします。**CBR** 方式の場合、画質が変化しますがビットレートの予測が容易です。**VBR**、**CBR** とともに、目安としてのビットレートを設定できます。

■ ONVIF について

本機は、ONVIF (Open Network Video Interface Forum)に対応しています。ONVIF は、監視機器のネットワークプロトコルを標準化している団体です。ONVIF では、監視機器を発見するプロトコル、監視機器の設定を取得・変更するプロトコル、映像音声データを送受信するプロトコルなどが標準化されています。また、本機は ONVIF profile S／T を満たしています。

■ ネットワーク帯域が不足した場合

帯域が不足するとクライアントで取得できる JPEG の枚数(フレームレート)が少なくなります。また、映像配信が遅延します。H.264／H.265 の場合、ノイズが入り映像を表示できなくなることがあります。

■ ネットワークの遅延

クライアントが JPEG を TCP で取得する場合には、クライアントからの **ACK** を確認しつつ本機は送信します。遅延が大きいネットワークでは **ACK** を受信するまで送信できないため、フレームレートが低下します。H.264／H.265 の場合、ノイズが入り映像を表示できなくなることがあります。マルチキャストで受信すれば、ネットワークの遅延によるフレームレート低下はなくなります。

■ ネットワークのジッター

ネットワークのジッターが大きいと、遅延時間の増大、映像のフレームレートの低下が起こります。H.264／H.265 の場合は、ノイズが入り映像を表示できなくなることがあります。

■ パケットロス

本機から TCP で映像を取得する場合は、パケットロスが TCP の再送によってリカバリーされます。ただし再送による遅延が大きい場合には、データが欠落し、映像のフレームレート低下が起こります。H.264／H.265 の場合は、ノイズが入り映像を表示できなくなることがあります。

本機からのマルチキャスト送信でパケットロスが起こった場合は、映像のフレームレート低下が起こります。H.264／H.265 の場合は、ノイズが入り映像を表示できなくなることがあります。

ビューワー画面について

本機の IP アドレスにアクセスして **admin** 権限でログイン(サインイン)すると、以下のビューワー画面が表示されます。



ビューワー画面

■ カメラ制御パネル

主に設置時の設定で使うメニューが配置されています。

■ ツールバー

[静止画／動画保存] ボタン、[全画面表示] ボタン

[エンコーダー選択]、[設定] ボタン、[ログアウト] ボタンがあります。

■ 映像表示エリア

エンコーダー選択をしたエンコーダーの映像が表示されます。

設置時の設定をする【カメラ制御パネル】

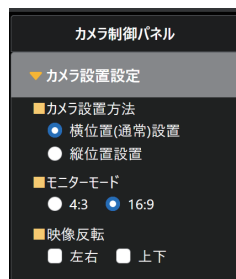
■ カメラの向きを設定する【カメラ設置設定 - カメラ設置方法】

[縦位置設置]を選択すると、モニターの縦置き設置(“モニターの縦設置”(P.18)参照)に対応します。

カメラ設置方法を変更すると、映像反転(左右、上下)の設定が初期設定(チェックなし)に戻ります。

メモ:

- 縦位置設置にした場合のビューワー画面表示はエンコーダー 1 とエンコーダー 2 のみに適用されます。エンコーダー 3 は常に横位置(通常)設置の映像となります。



■ モニターモードを設定する【カメラ設置設定 - モニターモード】

使用するモニターの種類に合わせたアスペクト比の映像出力の設定を行ないます。“モニターモードを設定する”(P.17)を参考に、システムに合わせた設定をしてください。ネットワーク出力は、設定がパソコンなどのフレームサイズに合う場合に限り映像が出力されます。

■ 映像を左右／上下に反転する【カメラ設置設定 - 映像反転】

- 左右 : チェックすると映像が左右反転します。
- 上下 : チェックすると映像が上下反転します。

[左右]、[上下]両方をチェックすると映像が上下左右反転します。

アナログ／ストリーム映像出力とも同じ設定になります。

■ フォーカスを合わせる【フォーカス調整】

- 自動調整する場合
[ワンプッシュ AF]をクリックすると自動調整を実行します。

メモ：

- ワンプッシュ AF 実行時はフォーカス調整モードになります。[フォーカス調整モード]ボタンをクリックしても動作は変わりません。
- ワンプッシュ AF 実行中に[ワンプッシュ AF]ボタンをクリックするとワンプッシュ AF の実行を停止します。
- 被写体によっては正確にピントが合わない場合があります。



- マニュアルで調整する場合

[フォーカス調整モード]をクリックすると、フォーカス調整モード(フォーカス調整しやすい映像設定)になります。再度クリックするとフォーカス調整モードを解除します。ピントを合わせる位置を近くするときは[近]、遠くするときは[遠]を押してフォーカスを調整します。

ピーキング : [ON]で輪郭に色が付き、フォーカスを合わせやすくすることができます。[OFF]の時は色が付きません。

メモ：

- フォーカス調整モード起動後、約3分経過するとフォーカス調整モードを自動解除します。

IP 接続

■ 画角の微調整をする【画角調整】

[←] [↑] [→] [↓] をクリックして映像出力位置の微調整を行ないます。
[リセット] ボタンをクリックすると、微調整前の状態に初期化します。

メモ: _____

- 画角調整設定が OFF の時は動作しません。



■ WDR モード設定をする【WDR モード】

現在の WDR モードの確認と、変更ができます。

[詳細設定] ボタンをクリックすると [映像設定] 画面を表示し、詳細な設定ができます。

詳細は“WDR(ワイドダイナミックレンジ)モードを設定する”(P.21)を参照ください。



■ カメラタイトルをつける【カメラタイトル】

文字列(上)は画面上部、文字列(下)は画面下部にタイトルを入力できます。
[表示] で表示の ON/OFF を選択し、[文字列] にタイトルを入力し、[保存] ボタンをクリックすると設定した内容が反映されます。

[詳細設定] ボタンをクリックすると文字色や文字列の背景色を設定する画面が表示されます。

詳細は“カメラタイトルを設定する／時刻を表示する／機器名称を設定する【カメラタイトル】”(P.55)を参照ください。



■ 静止画・動画を保存する【静止画／映像保存】

[静止画保存] ボタンをクリックすると現在表示されている映像を JPEG 形式で静止画保存します。

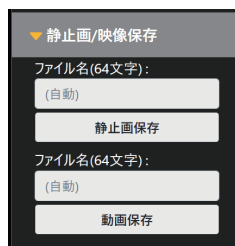
[動画保存] ボタンをクリックすると現在表示されている映像を mp4 形式で動画保存します。

保存場所をご使用のブラウザ既定のダウンロードフォルダです。

ツールバーの[📷][📹]ボタンでも同様に静止画と動画が保存できます。

メモ: _____

- ファイル名を指定して保存する場合は入力してください。
- ファイル名を指定しない場合は、"日付+モデル名+機器名称"でファイル名が自動生成されます。
(例)
静止画: YYYY.MM.DD-HH.MM.SS.mmm_TK-HD9801_機器名称.jpg
動画: YYYY.MM.DD-HH.MM.SS.mmm_TK-HD9801_機器名称.mp4
- 保存できる静止画の枚数や動画の記録時間はパソコンの仕様によって異なります。
- [動画保存] を押すと、録画開始後 30 秒で自動停止しファイルが保存されます。



■ カメラの設定を保存する【カメラ設定保存】

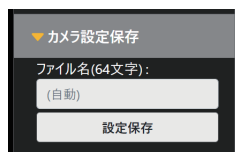
[設定保存] を押すと、本機の設定情報が暗号化されファイルに保存されます。(エクスポート)

この設定ファイルは、本機または別のカメラに読み込むことができます。(インポート)

保存場所をご使用のブラウザ既定のダウンロードフォルダです。

メモ: _____

- ファイル名を指定して保存する場合は入力してください。
- ファイル名を指定しない場合は、"日付+モデル名+機器名称"でファイル名が自動生成されます。
(例)
YYYY.MM.DD-HH.MM.SS.mmm_TK-HD9801_機器名称.bin
- カメラ交換時にカメラの設定情報をインポートして設定を引継ぐことができます。(P.95)



■ パソコンから本機背面メニュースイッチの操作を行なう【カメラメニュー制御】

本機背面のメニュースイッチでの操作(アナログ方式)をパソコンから行なうことができます。



ビューワーから静止画・動画を保存する／ビューワーを全画面表示にする(ツールバー)



■ ビューワーから静止画を保存する

静止画保存(スナップショット)ボタン[📷]をクリックすると、現在表示されているエンコーダーの映像を JPEG 形式で保存します。画像はご使用のブラウザ既定のダウンロードフォルダに保存されます。

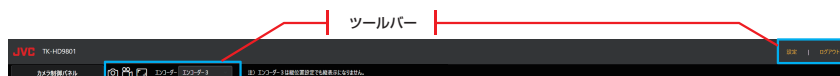
■ ビューワーから動画を保存する

録画ボタン[📹]をクリックすると、現在表示されているエンコーダーの映像を mp4 形式で保存します。録画中はアイコンの色が赤に変わります。もう一度クリックすると録画が停止し、アイコンの色が黒に戻ります。動画はご使用のブラウザ既定のダウンロードフォルダに保存されます。動画の保存時間は最大 30 秒です。

■ ビューワーを全画面表示する

全画面表示ボタン[🖥️]をクリックすると、映像を全画面表示します。画面をダブルクリックするかキーボードの「esc」キーを押すと全画面表示を終了し、通常のビューワー画面表示に戻ります。

設定画面を表示する／ログアウトする／エンコーダーを選択する(ツールバー)



■ 設定画面を表示する【設定】

[設定] をクリックすると、設定画面(“映像設定をする【映像設定】”(P.50)以降)が表示されます。

■ ログアウトする【ログアウト】

[ログアウト] をクリックすると、本機からログアウトします。

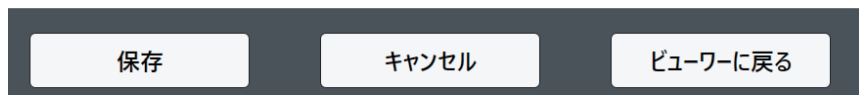
■ エンコーダーを選択する【エンコーダー】

[エンコーダー] のリストから表示するエンコーダーを設定できます。指定したエンコーダーのフレームサイズのアスペクト比に合わせて映像を表示します。

<設定値> エンコーダー 1、エンコーダー 2、エンコーダー 3

<初期値> エンコーダー 1

設定の保存方法



設定画面で各種項目を設定できます。

[保存] ボタンをクリックすると、設定を保存します。ボタンをクリックせずに別の設定画面を表示した場合は、設定は保存されません。

[キャンセル] ボタンをクリックすると、設定を保存しないですべての項目を変更前の状態にリセットします。

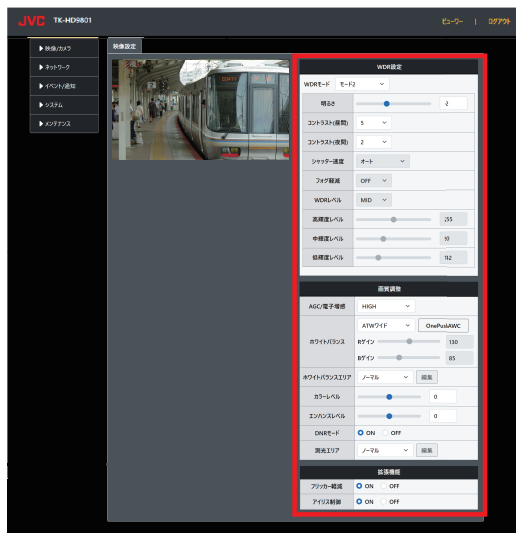
ご注意：

- [保存] ボタンをクリックした直後に電源を切らないでください。変更した設定内容が正しく保存されない場合があります。

映像／カメラの設定をする

映像設定をする【映像設定】

「映像/カメラ」ページの「映像設定」をクリックします。



アナログ方式と設定値は同じです。
下記を参照して、設定値の調整を行なってください。

WDR 設定

逆光補正(WDR)の詳細設定をします。

“WDR(ワイドダイナミックレンジ)モードを設定する” (P.21)を参照してください。

[モード 1～3]、[列番]を選択することで、あらかじめ逆光環境に合わせた映像設定値が反映されます。

[カスタム]を選択することで、任意の映像設定値を設定します。

[モード 1～3]、[列番]の設定： “WDR(ワイドダイナミックレンジ)モードを設定する” (P.21)
“逆光補正(WDR)機能を詳細に設定する” (P.26)

[カスタム]／[OFF]の設定： “WDR(ワイドダイナミックレンジ)モードを設定する” (P.21)

画質調整

“映像の設定を変更する” (P.29)を参照してください。

拡張機能

“フリッカー軽減” (P.31)を参照してください。

“アイリス制御” (P.27)を参照してください。

エンコーダーの設定をする【エンコーダー設定】

「映像/カメラ」ページの「エンコーダー設定」をクリックします。

JVC TK-HD9801

ホーム | ログアウト

▼ 映像/カメラ

映像設定

エンコーダー設定

カメラタイトル

プレイバーステータス

レンス設定

ネットワーク

イペリ/画面

システム

メンテナンス

エンコーダー設定

基本設定

カメラ設置方法 ☒ 横位置(標準)設置 ☐ 縦位置設置
(※) エンコーダーは縦位置設置でも視聴可能にはなりません。

モニターモード ☒ 16:9 ☐ 4:3

映像反転 ☐ 左右反転 ☐ 上下反転

画面固定 ☐ OFF ☒ ON

HD映像出力

AHD

エンコーダー-1

エンコードタイプ

H.264 High

フレームサイズ

1920x1080

フレームレート

30

ビットレート制御

CBR

ビットレート

4096

 kbps (64~12000)

フレーム間隔

オート

RTSP URL

rtsp://192.168.0.2:554/ONVIF/Streaming/channel/0

コピー

エンコーダー-2

エンコードタイプ

H.264 High

フレームサイズ

1280x720

フレームレート

30

ビットレート制御

CBR

ビットレート

2048

 kbps (64~12000)

フレーム間隔

オート

RTSP URL

rtsp://192.168.0.2:554/ONVIF/Streaming/channel/1

コピー

エンコーダー-3

エンコードタイプ

JPEG

フレームサイズ

640x360

フレームレート

30

ビットレート制御

VFS

画質

60

 (1~100)

RTSP URL

rtsp://192.168.0.2:554/ONVIF/Streaming/channel/2

コピー

保存

キャンセル

ビューアーに戻る

映像／カメラの設定をする

■ 基本設定

“設置時の設定をする【カメラ制御パネル】”（P.44）で設定した内容、もしくはアナログ方式の“モニターモードを設定する”（P.17）、“モニターの縦設置”（P.18）、“映像の反転”（P.18）で設定した内容が反映されます。

また、[基本設定]で設定を変更した場合にも、それらの設定が反映されます。

基本設定	
カメラ設置方法	☒ 横位置(通常)設置 ☐ 縦位置設置 注）エンコーダー-3は縦位置設定でも縦表示になりません。
モニターモード	☒ 16:9 ☐ 4:3
映像反転	☐ 左右反転 ☐ 上下反転
画角調整	☐ OFF ☒ ON
HD映像出力	AHD v

■ 画角調整

画角調整機能の OFF、ON を設定します。

ON に設定時、カメラ制御パネルの画角調整にある[↑/→/↓/←]ボタンで画角の調整ができます。

<初期値> ON

メモ：_____

- 画角調整を ON にすると、画面が少し拡大表示されます。

■ エンコーダー 1／2／3

エンコードタイプ

各エンコーダーのエンコード形式を設定します。

- エンコーダー 1／2 <設定値> H.264 Main、H.264 High、H.265 <初期値> H.264 High
- エンコーダー 3 <設定値> JPEG <初期値> JPEG

フレームサイズ

各エンコーダーのフレームサイズを設定します。

「モニターモード」設定により、設定可能なフレームサイズが変わります。

- モニターモード設定が 16:9 のとき <設定値> 1920x1080、1280x720、640x360
- モニターモード設定が 4:3 のとき <設定値> 1280x960、640x480、320x240

映像／カメラの設定をする

＜初期値＞

モニターモード	エンコーダー 1	エンコーダー 2	エンコーダー 3
16:9	1920×1080	1280×720	640×360
4:3	1280×960	1280×960	640×480

また、モニターモードの設定を切り替えたとき、自動でフレームサイズ設定を変更します。

フレームレート

各エンコーダーのフレームレートを設定します。

＜設定値＞ 1～30 ＜初期値＞ 30

メモ：

- 同一エンコーダーから映像配信を複数行なう場合、フレームレートの合計が 240fps 以下になるよう設定してください。

画質

エンコーダー 3 に限り設定可能です。

＜設定値＞ 1～100 ＜初期値＞ 60

各フレームサイズのおおよそのファイルサイズ(KB)は以下のとおりです。

フレームサイズ	画質		
	100	60	20
1920×1080	170	102	71
1280×960	152	102	34
1280×720	141	101	33
640×480	58	58	35
640×360	51	51	33
320×240	23	23	23

I フレーム間隔

エンコーダー 1/2 に限り、設定可能です。

[オート] 設定はフレームレート設定と同期し、1 秒に 1 回 I フレームを送信します。

＜設定値＞ オート、1～30 ＜初期値＞ オート

ビットレート制御

ビットレート制御方式を設定します。エンコーダー 1/2 に限り、設定可能です。

＜設定値＞ CBR、VBR ＜初期値＞ CBR

メモ：

- 本カメラの接続クライアント数上限は 20 です。カメラから接続クライアントへの配信本数は 20 本以下としてください。

映像／カメラの設定をする

ビットレート

各エンコーダーのビットレートを設定します。エンコードタイプの設定が H.264 High／H.264 Main／H.265 の場合に限り、設定可能です。

＜設定値＞ 64kbps～12000kbps

＜初期値＞ エンコーダー 1：4096 kbps、エンコーダー 2：2048 kbps

RTSP URL

各エンコーダーの RTSP URL を表示します。表示は次のとおりです。

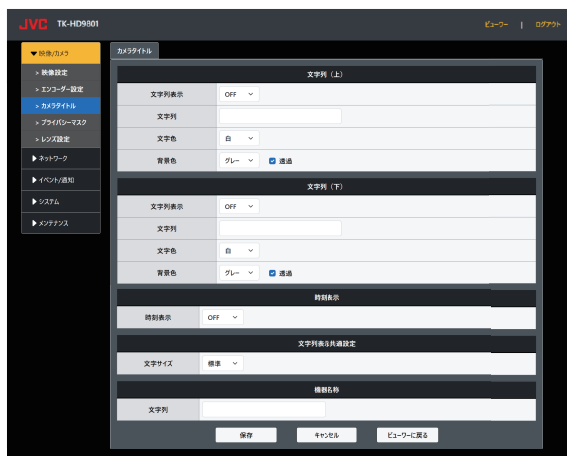
[rtsp://IP アドレス / ONVIF / Streaming / channels / エンコーダーの番号から 1 を引いた数字]

例) エンコーダー 1 の場合 0

[コピー] ボタンをクリックすると、クリップボードに RTSP URL をコピーします。

カメラタイトルを設定する／時刻を表示する／機器名称を設定する【カメラタイトル】

「映像/カメラ」ページの「カメラタイトル」をクリックします。



■ カメラタイトルの表示位置、および内容や色を設定する【文字列(上)(下)】

映像上に表示する文字列(カメラタイトル)を設定します。

上下2か所の文字列についてそれぞれ設定できます。

文字列表示

文字列の表示・非表示、表示位置を設定します。

＜設定値＞ OFF、左、中央、右 ＜初期値＞ OFF

文字列

表示する文字を設定します。 ＜最大文字数＞ 20文字

文字色

表示する文字列の色を設定します。

＜設定値＞ 白、黒、青 ＜初期値＞ 白

背景色

表示する文字列の背景色を設定します。[透過]にチェックを入れると、背景色が透過します。

＜設定値＞ 白、黒、青、グレー、なし ＜初期値＞ グレー

■ 時刻の表示位置を設定する【時刻表示】

時刻表示

時刻の表示・非表示、表示位置を設定します。表示形式は、YYYY/MM/DD HH:MM:SS です。

＜設定値＞ OFF、左上、中央上、右上、左下、中央下、右下 ＜初期値＞ OFF

映像／カメラの設定をする

■ 文字サイズを設定する【文字列表示共通設定】

文字サイズ

文字サイズを選択します。上下2か所の文字列および時刻と共通の設定となります。

＜設定値＞ 標準、拡大 ＜初期値＞ 標準

■ 機器名称を設定する【機器名称】

文字列

ビューワー画面のツールバー上に表示する文字列を設定します。

遠隔で監視する場合に、どこに設置されているカメラか識別可能にするための文字列設定で、映像には表示されません。 ＜最大文字数＞ 20 文字

ご注意：

- カメラタイトルの表示位置と時刻の表示位置は別の位置を設定してください。同じ位置に設定すると、カメラタイトルが優先されて時刻の表示をすべて表示できないことがあります。
また、カメラタイトルの文字数が多い場合にも、時刻の表示をすべて表示できないことがあります。
 - 文字サイズを拡大に設定している場合、カメラタイトルや時刻の表示をすべて表示できないことがあります。
 - カメラタイトルや時刻の表示位置が左や右に設定されている場合、モニターモードを 4:3 に設定するとカメラタイトルや時刻の表示をすべて表示できないことがあります。
 - カメラタイトル、機器名称で設定できる文字列は全角文字で表示されます。
-

プライバシーマスクを入れる【プライバシーマスク】

「映像/カメラ」ページの「プライバシーマスク」をクリックします。



プライバシー保護のため、表示映像の一部を隠すことができます。プライバシーマスクは4か所まで設定できます。

1 マスクを表示する

表示するマスクにチェックを入れます。最大4つのプライバシーマスクを設定できます。

<初期値> チェックなし

2 マスクの大きさおよび位置を設定する

左下の[編集]ボタンをクリックし、マウスでドラッグして各マスクの大きさおよび位置を設定します。

3 マスクの明るさを設定する

「明るさ」を選択してマスクの明るさを設定します。

<設定値> 0(暗い)～10(明るい) <初期値> 8

ご注意：

- カメラタイトルの表示位置と重なるようにプライバシーマスクの位置を設定する場合、カメラタイトルの背景色を透過で使用しないでください。
カメラタイトルの背景色を透過で使用した場合、プライバシーマスクも透過し、プライバシーを保護できません。

レンズの設定をする【レンズ設定】

「映像/カメラ」ページの「レンズ設定」をクリックします。



■ レンズの種類を設定する

レンズタイプ

レンズの種別を選択します。

<設定値> ノーマル、カスタム <初期値> ノーマル

レンズタイプ(レンズタイプ:[カスタム]選択時のみ設定可能)			
項目	初期値	設定値	機能
PRO ゲイン	8	1～255	値が大きいとアイリスの収束速度が遅くなる分、ハンチングが起きにくくなります。
INT ゲイン	5	0～255	
スピード	14	0～255	値が小さいとアイリスの収束速度が遅くなる分、ハンチングが起きにくくなります。
ヒステリシス	8	0～255	大きくするとアイリスの反応が遅くなり、ハンチングが起きにくくなります。

ご注意：

- レンズタイプは[ノーマル]で使用してください。アイリスがハンチングするなどの場合に限りカスタムで微調整を行なってください。
大きく変更すると被写体によってはアイリスの収束速度が遅くなりすぎたり、ハンチングの回数が増えたりすることがあります。必ず使用環境での微調整を行なってください。
- レンズタイプ[カスタム]で設定した PRO ゲイン、INT ゲイン、スピード、ヒステリシスの各項目は工場出荷設定の対象外です。

映像／カメラの設定をする

■ バックフォーカス位置を初期化する

[実行] ボタンをクリックすると、カメラのバックフォーカス位置が出荷時の設定に戻ります。

■ ピーキング設定をする

ピーキングはフォーカス調整モード使用時に、輪郭に色を付ける機能です。

色

ピーキング表示の色を選択します。

＜設定値＞ 青、赤 ＜初期値＞ 赤

閾値

色を付ける範囲の広さを選択します。

＜設定値＞ 0 (広い)～20 (狭い) ＜初期値＞ 10

ネットワークの設定をする

ネットワーク接続の設定【ネットワーク設定】

「ネットワーク」ページの「ネットワーク設定」をクリックします。

■ ネットワークタイプを設定する

IP 設定

ネットワーク設定の方法を選択します。[固定 IP]を選択すると、手動で入力した IP アドレスを設定します。[DHCP]を選択すると、DHCP サーバーから取得した設定に従い IP アドレスなどを自動設定します。

＜設定値＞ 固定 IP、DHCP ＜初期値＞ 固定 IP

DNS 設定

DNS サーバー設定方法を選択します。

＜設定値＞

- DHCP サーバーから取得した DNS サーバーを使用 : DHCP サーバーから取得した設定に従い DNS サーバーを設定します。
- 手動設定した DNS サーバーを使用 : 手動で DNS サーバーを設定します。

＜初期値＞ DHCP サーバーから取得した DNS サーバーを使用

ネットワークの設定をする

■ IPv4 の設定をする

本機のネットワーク情報を設定します。「IP 設定」が[固定 IP]の場合に限り設定可能です。

IP アドレス

IP アドレスを設定します。 <初期値> 192.168.0.2

サブネットマスク

サブネットマスクを設定します。 <初期値> 255.255.255.0

デフォルトゲートウェイ

デフォルトゲートウェイを設定します。

「IP 設定」が[DHCP]に設定されているときは入力できません。 <初期値> 0.0.0.0

プライマリー DNS／セカンダリー DNS

各 DNS サーバーを設定します。 <初期値> 0.0.0.0

■ IPv6 の設定をする

IP アドレス

MAC アドレスに基づいて作成されたリンクローカルアドレスが初期値で設定されています。

プレフィックス長

プレフィックス長を設定します。

<設定値> 10～127 <初期値> 64

デフォルトゲートウェイ

デフォルトゲートウェイを設定します。 <初期値> ::

プライマリー DNS

プライマリー DNS サーバーを設定します。 <初期値> ::

■ ネットワーク詳細設定をする

QoS(DSCP)

ネットワークトラフィックの優先順位とパケット破棄率を設定します。

各エンコーダーの配信に共通して適用されます。

<設定値> 0～63 <初期値> 0

MTU

ビデオデータを転送するパケットの最大サイズを設定します。

<設定値> 1280～1500 <初期値> 1500

メモ:

- ・ 本機はネットワークネゴシエーション設定がオートで動作しています。
全二重／半二重など通信モードを固定にすることはできません。
-

ネットワークの設定をする

ネットワーク認証設定【HTTP／HTTPS／RTSP】

「ネットワーク」ページの「HTTP(S)/RTSP」をクリックします。

The screenshot shows the JVC TK-HD9801 web interface. The left sidebar contains a menu with options like '映像/カメラ', '映像設定', 'エンコーダー設定', 'カメラタイトル', 'プライバシーマスク', 'レンズ設定', 'ネットワーク', 'ネットワーク設定', 'HTTP(S)/RTSP', 'アクセス制御', 'マルチキャスト', 'SNMP', 'イベント/通知', 'システム', and 'メンテナンス'. The 'HTTP(S)/RTSP' option is selected. The main content area is titled '認証設定' (Authentication Settings) and is divided into three sections: '認証方式' (Authentication Method), 'HTTP/HTTPS', and 'RTSP'. The '認証方式' section shows 'BASIC' selected. The 'HTTP/HTTPS' section shows 'HTTP' selected as the communication method. The 'RTSP' section shows 'RTSPポート' (RTSP Port) set to 554 and three profile streams: 'プロファイル(エンコーダー-1)' (Stream123), 'プロファイル(エンコーダー-2)' (Stream234), and 'プロファイル(エンコーダー-3)' (Stream345). At the bottom, there are buttons for '保存' (Save), 'キャンセル' (Cancel), and 'ビューワに戻る' (Return to Viewer).

■ HTTP／HTTPS／RTSP に共通の項目を設定する

認証方式

HTTP 通信 (CGI、JVC API を含む)、RTSP (ストリーム以外)、ONVIF による制御の認証設定を行いません。

＜設定値＞ BASIC、DIGEST ＜初期値＞ BASIC

JVC API 認証

JVC API で映像ストリームを要求するときの HTTP 認証の ON/OFF を設定します。

＜設定値＞ OFF、ON ＜初期値＞ ON

RTSP 認証

RTSP 認証を設定します。

＜設定値＞ OFF、ON ＜初期値＞ ON

ネットワークの設定をする

■ HTTP/HTTPS の設定をする

通信方式

HTTP/HTTPS 通信方式を設定します。

＜設定値＞ HTTP、HTTPS ＜初期値＞ HTTP

HTTP ポート

HTTP 方式のポートを設定します。

＜設定値＞ 80、1024～65535 ＜初期値＞ 80

HTTPS ポート

HTTPS 方式のポートを設定します。

＜設定値＞ 443、1024～65535 ＜初期値＞ 443

■ RTSP の設定をする

RTSP ポート

RTSP ポートを設定します。

＜設定値＞ 554、1024～65535 ＜初期値＞ 554

プロファイル(エンコーダー 1～3)

各エンコーダーのプロファイル名を設定します。エンコーダー設定ページの RTSP URL を設定できないクライアントと接続する際に、クライアントに設定可能な RTSP URL として本プロファイルを設定します。複数のエンコーダーで同じ名前を設定することはできません。

＜最大文字数＞ 大小英数字 32 文字

＜初期値＞ プロファイル(エンコーダー 1) : Stream1
 プロファイル(エンコーダー 2) : Stream2
 プロファイル(エンコーダー 3) : Stream3

ネットワークの設定をする

アクセス制限する【アクセス制限】

「ネットワーク」ページの「アクセス制限」をクリックします。



クライアントの制限を設定します。

■ アクセス制限する

有効化

アクセス制限の設定が可能になります。チェックを外すとアクセス制限は無効となりますが、登録されている IP アドレスのリストは保持されます。

＜初期値＞ チェックなし

リスト種別

アクセス制限の方法を設定します。

- アクセス許可リスト : 登録された IP アドレス(クライアント)からのアクセスに限り許可します。
- アクセス拒否リスト : 登録された IP アドレス(クライアント)からのアクセスを拒絶します。

■ アクセス制限するクライアントのリストを作成する

開始アドレス／終了アドレス

アクセスを制限または許可するように IP アドレス(クライアント)を設定します。登録できるアドレスは最大 20 件までです。

[リストに追加] ボタンをクリックすると、入力した IP アドレスをアドレスリストボックスに追加します。

＜設定値＞ 0.0.0.0～255.255.255.255

アクセス制限リスト

登録されているアドレス(最大 20 件)の IP アドレスの一覧を表示します。

[リストから削除] ボタンをクリックすると、リストのアドレスリストボックスから選択した IP アドレスを削除します。

ネットワークの設定をする

マルチキャストの設定をする【マルチキャスト】

「ネットワーク」ページの「マルチキャスト」をクリックします。

各エンコーダーのマルチキャストの配信設定をします。

配信

該当するエンコーダーのマルチキャスト配信が有効になります。[開始] ボタンをクリックすると、配信の要求なしでマルチキャスト配信を行います。[停止] ボタンを押すと、マルチキャスト配信が停止します。

IP アドレス

マルチキャスト配信に使用する IP アドレスを設定します。

＜設定値＞ 224.0.0.0～239.255.255.255

＜初期値＞ エンコーダー 1:239.0.1.1、エンコーダー 2:239.0.2.1、エンコーダー 3:239.0.3.1

ポート

マルチキャスト配信に使用するポートを設定します。

＜設定値＞ 1024～65534

＜初期値＞ エンコーダー 1:53152、エンコーダー 2:55152、エンコーダー 3:57152

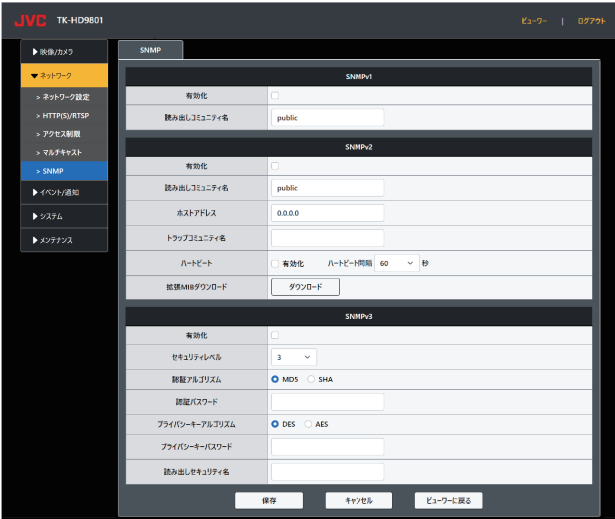
TTL

UDP パケットの TTL 値を設定します。

＜設定値＞ 1～255 ＜初期値＞ 32

ネットワーク監視を設定する【SNMP】

「ネットワーク」ページの「SNMP」をクリックします。



SNMP(簡易ネットワーク管理プロトコル)を設定します。
接続したネットワーク機器やパソコンの OS の状態監視などを行ないます。
SNMP バージョン対応は以下になります。

バージョン	読み出し (GET)	書き込み (SET)	トラップ(ハートビート/coldStart 含む)
SNMP v1	対応	非対応	非対応
SNMP v2c	対応	非対応	対応
SNMP v3	対応	非対応	非対応

■ SNMP v1 を設定する

SNMP v1 有効化
SNMP v1 の有効／無効を設定します。チェックすると SNMP v1 が有効になります。
<初期値> チェックなし

読み出しコミュニティ名
SNMP v1 の読み出しコミュニティ名を設定します。(大小英数記号で 8～36 文字)
<初期値> public

ネットワークの設定をする

■ SNMP v2 を設定する

SNMP v2 有効化

SNMP v2 の有効／無効を設定します。チェックすると SNMP v2 が有効になります。

＜初期値＞ チェックなし

読み出しコミュニティ名

SNMP v1 の読み出しコミュニティ名を設定します。(大小英数記号で 8～36 文字)

＜初期値＞ public

ホストアドレス

SNMP v2 の宛先(監視元)を設定します。

＜設定値＞ 0.0.0.0～255.255.255.255 ＜初期値＞ 0.0.0.0

トラップコミュニティ名

トラップコミュニティ名を設定します。(大小英数記号で 8～36 文字)

ハートビート

周期的なデータ送信を行なうことで本機の状態を他の機器から監視し続けることができます。

有効化

ハートビートの有効／無効を設定します。チェックするとハートビートが有効になります。

＜初期値＞ チェックなし

ハートビート間隔

ハートビートの送信間隔を設定します。

＜設定値＞ 1～60(秒) ＜初期値＞ 60

拡張 MIB ダウンロード

[ダウンロード] ボタンをクリックすると、拡張 MIB ファイルをパソコンにダウンロードし、以下の内容で保存されます。

ファイル名: TK-HD9801.mib

保存先: ご使用のブラウザ既定のフォルダ

ネットワークの設定をする

SNMP トラップ用 MIB の概要

シンボル名	OID	トラップ通知内容
jvcNwCamHeatbeat	1.3.6.1.4.1.46861.3.100.10.100.1	ハートビート(定期)通知
jvcNwCamImagelsTooDark	1.3.6.1.4.1.46861.3.100.10.100.10	映像障害(暗い)発生
jvcNwCamImagelsTooDarkDissolution	1.3.6.1.4.1.46861.3.100.10.100.11	映像障害(暗い)解消
jvcNwCamImagelsTooBright	1.3.6.1.4.1.46861.3.100.10.100.12	映像障害(明るい)発生
jvcNwCamImagelsTooBrightDissolution	1.3.6.1.4.1.46861.3.100.10.100.13	映像障害(明るい)解消
jvcNwCamOutOfFocus	1.3.6.1.4.1.46861.3.100.10.100.14	映像障害(フォーカスボケ)発生
jvcNwCamInFocus	1.3.6.1.4.1.46861.3.100.10.100.15	映像障害(フォーカスボケ)解消
jvcNwCamMemorySpacelsLow	1.3.6.1.4.1.46861.3.100.10.100.50	メモリ使用量増
jvcNwCamMemorySpacelsNormal	1.3.6.1.4.1.46861.3.100.10.100.51	メモリ使用量増加解消
jvcNwCamTooManyConnection	1.3.6.1.4.1.46861.3.100.10.100.60	接続クライアント数調査監視
jvcNwCamRestartCamera	1.3.6.1.4.1.46861.3.100.10.100.100	カメラ再起動通知

メモ :

- 標準 MIB (SNMPv2-MIB) OID 1.3.6.1.6.3.1.1.5.1 coldStart は、SNMP v2 を有効化すると SNMP エージェントが 初期化され起動した際に通知をおこないます(停止機能はありません)。

ネットワークの設定をする

■ SNMP v3 の設定をする

有効化

SNMP v3 の有効／無効を設定します。チェックすると SNMP v3 が有効になります。

＜初期値＞ チェックなし

セキュリティレベル

SNMP v3 のセキュリティレベルを設定します。

＜設定値＞ 1～3 ＜初期値＞ 3

認証アルゴリズム

認証アルゴリズムを設定します。

＜設定値＞ MD5, SHA ＜初期値＞ MD5

認証パスワード

認証パスワードを設定します。(大小英数記号で 8～36 文字)

プライバシーキーアルゴリズム

プライバシーキーアルゴリズムを設定します。

＜設定値＞ DES, AES ＜初期値＞ DES

プライバシーキーパスワード

プライバシーキーを設定する機能です。(大小英数記号で 8～36 文字)

読み出しセキュリティ名

各セキュリティの名称を設定します。(大小英数記号で 8～36 文字)

イベント/通知の設定をする

イベント通知の設定をする【イベント設定】

「イベント/通知」ページの「イベント設定」をクリックします。
異常が検出されたときのユーザーへの通知方法や記録方法を設定します。

■ イベントリストを表示する【イベントリスト】

登録したイベントはイベントリストに表示されます。登録可能なイベントは最大 10 件です。



イベント/通知の設定をする

■ イベント通知の設定をする【イベント設定】

イベント設定										
有効化	☐									
名前	イベント名(最大47文字)									
イベント スケジュール	☒ 常時 ☐ スケジュール ☐ 繰り返し設定									
イベント	接続クライアント数超過監視									
アクション	☐ メール送信 通知先アドレス 1.									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>通知メッセージ</th> <th>JPEG添付</th> <th>ログファイル添付</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 件名: [同時接続クライアント数超過]機器名称* (固定文 編集できません) 件名に追加したい内容を入力してください。 (最大127文字) </td> <td rowspan="2">☐</td> <td rowspan="2">☐</td> </tr> <tr> <td> 本文: (固定文 編集できません) [通知内容]同時接続クライアント数超過 [発生日時]yyyy/mm/dd" hh/mm/ss" [クライアント機器名称] [IPアドレス] xxx.xxx.xxx.xxx 本文に追加したい内容を入力してください。 (最大256文字) </td> </tr> </tbody> </table>	通知メッセージ	JPEG添付	ログファイル添付	件名: [同時接続クライアント数超過]機器名称* (固定文 編集できません) 件名に追加したい内容を入力してください。 (最大127文字)	☐	☐	本文: (固定文 編集できません) [通知内容]同時接続クライアント数超過 [発生日時]yyyy/mm/dd" hh/mm/ss" [クライアント機器名称] [IPアドレス] xxx.xxx.xxx.xxx 本文に追加したい内容を入力してください。 (最大256文字)		
	通知メッセージ	JPEG添付	ログファイル添付							
	件名: [同時接続クライアント数超過]機器名称* (固定文 編集できません) 件名に追加したい内容を入力してください。 (最大127文字)	☐	☐							
	本文: (固定文 編集できません) [通知内容]同時接続クライアント数超過 [発生日時]yyyy/mm/dd" hh/mm/ss" [クライアント機器名称] [IPアドレス] xxx.xxx.xxx.xxx 本文に追加したい内容を入力してください。 (最大256文字)									
	☐ TCP通知 通知先IPアドレス 1.0.0.0									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>通知データ</th> <th>JPEG添付</th> <th>ログファイル添付</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> (最大127文字) </td> <td>☐</td> <td>☐</td> </tr> </tbody> </table>	通知データ	JPEG添付	ログファイル添付	(最大127文字)	☐	☐			
	通知データ	JPEG添付	ログファイル添付							
	(最大127文字)	☐	☐							
	☐ UDP通知 通知先IPアドレス 1.0.0.0									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>通知データ</th> <th>JPEG添付</th> <th>ログファイル添付</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> (最大127文字) </td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	通知データ	JPEG添付	ログファイル添付	(最大127文字)	-	-				
通知データ	JPEG添付	ログファイル添付								
(最大127文字)	-	-								
☐ HTTP通知 通知先URL 1.0.0.0										
データ種別 ☐ GET ☒ POST										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>通知データ</th> <th>JPEG添付</th> <th>ログファイル添付</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> メッセージ: (最大256文字) </td> <td rowspan="2">☐</td> <td rowspan="2">☐</td> </tr> <tr> <td> POSTデータ: (最大256文字) </td> </tr> </tbody> </table>	通知データ	JPEG添付	ログファイル添付	メッセージ: (最大256文字)	☐	☐	POSTデータ: (最大256文字)			
通知データ	JPEG添付	ログファイル添付								
メッセージ: (最大256文字)	☐	☐								
POSTデータ: (最大256文字)										
☐ SNMPトラップ通知 SNMPトラップ通知を使用するときは、SNMP設定ページでSNMPトラップの設定をしてください。										

チェックを入れるとイベントが有効になります。

＜初期値＞ チェックなし

イベント名を設定できます。＜最大文字数＞ 47 文字

イベント名を設定できます。＜最大文字数＞ 47 文字

イベント動作を有効にするスケジュールを設定します。選択すると設定メニューを表示します。

イベント動作を有効にするスケジュールを設定します。選択すると設定メニューを表示します。

<設定値>

- 常時 : イベントが発生したとき常にイベントアクションを実行します。
- スケジュール : イベント動作を実行する曜日と時間(1 時間ごと)をクリックして設定します。選択すると設定メニューを表示します。
ボタンで一括設定することもできます。

すべて選択：すべての時間帯を有効にします。

すべて解除：すべての時間帯を無効にします。

キャンセル：直前に指定したスケジュールがクリアされ、変更前の状態に戻ります。

- 繰り返し設定 : イベント動作を実行する曜日と開始時間および継続時間を設定します。選択すると設定メニューを表示します。

＜初期値＞ 常時

イベント/通知の設定をする

イベント

イベント

映像障害(暗い)発生

暗さ判定閾値：

低

映像障害(明るい)発生

明るさ判定閾値：

低

映像障害(フォーカスボケ)発生

フォーカスボケ判定閾値：

低

イベント番号	イベント種類	イベントの動作
1	映像障害(暗い)発生	[判定閾値] よりも映像が暗くなったことを検知します。 [判定閾値]の中で「低」が最も暗く、それより暗い状態を障害と通知します。
2	映像障害(暗い)解消	[判定閾値] よりも明るくなると、回復状態になったことが通知されます。
3	映像障害(明るい)発生	[判定閾値] よりも映像が明るくなったことを検知します。 [判定閾値]の中で「低」が最も明るく、それより明るい状態(白飛び)を障害と通知します。
4	映像障害(明るい)解消	[判定閾値] よりも暗くなると、回復状態になったことが通知されます。
5	映像障害(フォーカスボケ)発生	[判定閾値] よりもフォーカスがボケていることを検知します。 [判定閾値]の中で「低」が最もボケた状態で、それよりボケた状態を障害と通知します。
6	映像障害(フォーカスボケ)解消	[判定閾値] よりもボケが改善すると、回復状態になったことが通知されます。
7	カメラ再起動監視	カメラの再起動を検知します。
8	メモリ使用量増加	カメラ内部のメモリ空き容量が切迫した状態で、カメラの動作に影響を与える可能性がある状態を検知します。
9	メモリ使用量増加解消	空き容量に余裕がある状態に戻ったときに回復状態になったことが通知されます。
10	接続クライアント数超過監視	接続クライアント数の上限超過(接続クライアント 21 番目の接続リクエスト)を検知します。

イベント/通知の設定をする

アクション

イベント(障害)を検知したときに実施するアクションにチェックを入れることで有効化します。

メモ: _____

- [メール送信]の場合は“メールの送信先を設定する【メール設定】”(P.76)、[TCP 通知]／[UDP 通知]／[HTTP 通知]の場合は“TCP／UDP／HTTP の通知先を設定する【通知設定】”(P.78)、[SNMP トラップ通知]の場合は“ネットワーク監視を設定する【SNMP】”(P.66)を先に行なってください。

1 アドレスを選択する

[通知先アドレス]に通知が送られます。

2 イベント発生時(障害検知時)、イベント終了時(回復時)の通知内容を設定する

● [メール送信]の場合

☐ メール送信

通知先アドレス 1.

通知メッセージ	JPEG添付	ログファイル添付
件名: [映像異常][機器名称] (定型文 編集できません) 件名に追加したい内容を入力してください。(最大127文字)		
本文: (定型文 編集できません) [通知内容]映像異常-暗過ぎ [発生日時]"yyyy/mm/dd" "hh/mm/ss" [カメラ名称] 機器名称" [IPアドレス]"xxx.xxx.xxx.xxx" 本文に追加したい内容を入力してください。(最大256文字)	☐	☐

イベント発生／終了(有効化する場合のみ)時の通知メッセージを入力してください。

<最大文字数>

[件名]: 日本語 127 文字、半角英数字 127 文字

[本文]: 日本語 256 文字、半角英数字 256 文字

イベント発生時のカメラ映像をキャプチャした JPEG を添付する場合は[JPEG 添付]に、ログファイルを添付する場合は[ログファイル添付]にチェックを入れてください。

メモ: _____

- 件名、及び本文には定型文が設定されています。
件名には[イベント][機器名称]、本文には[通知内容]、[発生日時]、[カメラ名称]、[IP アドレス]が設定されています。
定型文を変更することはできません。

イベント/通知の設定をする

● [TCP 通知]、[UDP 通知]の場合

☐ TCP通知

通知先IPアドレス 1.0.0.0.0

通知データ	JPEG添付	ログファイル添付
(最大127文字)	☐	☐

イベント発生／終了(有効化する場合のみ)時の通知データを入力してください。

<最大文字数> UTF-8 日本語 127 文字、半角英数字 127 文字

イベント発生時のカメラ映像をキャプチャした JPEG を添付する場合は[JPEG 添付]に、ログファイルを添付する場合は[ログファイル添付]にチェックを入れてください。

メモ: _____

- [UDP 通知]は、JPEG 添付、ログファイル添付には対応していません。

● [HTTP 通知]の場合

☐ HTTP通知

通知先URL 1.0.0.0.0

データ種別 ☐ GET ☒ POST

通知データ	JPEG添付	ログファイル添付
メッセージ: (最大256文字)		
POSTデータ: (最大256文字)	☐	☐

イベント発生／終了(有効化する場合のみ)時の通知データを入力してください。

イベント発生時のカメラ映像をキャプチャした JPEG を添付する場合は[JPEG 添付]に、ログファイルを添付する場合は[ログファイル添付]にチェックを入れてください。

<最大文字数> 256 文字

[データ種別] : サーバーにデータを通知するときのデータ種別

<設定値> POST、GET <初期値> POST

● [SNMP トラップ通知]の場合

SNMP トラップ通知を使用するときは、SNMP 設定ページで SNMP トラップの設定をしてください。

メールの送信先を設定する【メール設定】

「イベント/通知」ページの「メール設定」をクリックします。

■ メールアドレスリストを編集する

送信先 1～送信先 5 まで最大 5 つのメールアドレスを設定できます。

＜最大文字数＞ 半角英数字 63 文字(各メールアドレス)

■ 送信メールサーバーを設定する【メールサーバー設定】

サーバー選択

＜設定値＞ プライマリーメールサーバー、セカンダリーメールサーバー

＜初期値＞ プライマリーメールサーバー

SMTP サーバー

SMTP サーバーの IP アドレス、または FQDN を設定します。

＜最大文字数＞ 半角英数字 63 文字 ＜初期値＞ 0.0.0.0

SMTP ポート

SMTP サーバーポートを設定します。

＜設定値＞ 25、465、587、1024～65535 ＜初期値＞ 25

認証方式

SMTP サーバーの認証方式を設定します。

＜設定値＞ ログイン認証、PLAIN 認証 ＜初期値＞ ログイン認証

イベント/通知の設定をする

ログイン ID

SMTP 認証に使用する ID を設定します。 <最大文字数> 半角英数字 36 文字

パスワード

SMTP 認証に使用するパスワードを設定します。 <最大文字数> 半角英数字 36 文字

上記設定完了後、[保存]ボタンもしくは[接続テスト]ボタンをクリックしてください。

[接続テスト] ボタンをクリックすると、設定を自動で保存した後、設定内容に従って固定フォーマットのテストメールを送信します。設定内容にエラーがあった場合、メールは送信されません。

イベント/通知の設定をする

TCP／UDP／HTTP の通知先を設定する【通知設定】

「イベント/通知」ページの「通知設定」をクリックします。

■ TCP 通知を設定する【TCP 通知】

TCP 通知の通知先を設定します。通知先 1～通知先 5 まで最大 5 つの通知先が設定できます。

TCP通知	
通知先1	IPアドレス/FQDN: 0.0.0.0
	ポート: 20000 (1~65535)
通知先2	IPアドレス/FQDN: 0.0.0.0
	ポート: 20000 (1~65535)
通知先3	IPアドレス/FQDN: 0.0.0.0
	ポート: 20000 (1~65535)
通知先4	IPアドレス/FQDN: 0.0.0.0
	ポート: 20000 (1~65535)
通知先5	IPアドレス/FQDN: 0.0.0.0
	ポート: 20000 (1~65535)

IP アドレス/FQDN

通知先の IP アドレス、または FQDN を設定します。

＜最大文字数＞ 半角英数字 63 文字 ＜初期値＞ 0.0.0.0

ポート

通知先の TCP ポートを設定します。

＜設定値＞ 1～65535 ＜初期値＞ 20000

イベント/通知の設定をする

■ UDP 通知を設定する【UDP 通知】

UDP 通知の通知先を設定します。通知先 1～通知先 5 まで最大 5 つの通知先が設定できます。

UDP通知		
通知先1	IPアドレス/FQDN	0.0.0.0
	ポート	20000 (1～65535)
通知先2	IPアドレス/FQDN	0.0.0.0
	ポート	20000 (1～65535)
通知先3	IPアドレス/FQDN	0.0.0.0
	ポート	20000 (1～65535)
通知先4	IPアドレス/FQDN	0.0.0.0
	ポート	20000 (1～65535)
通知先5	IPアドレス/FQDN	0.0.0.0
	ポート	20000 (1～65535)

IP アドレス/FQDN

通知先の IP アドレス、または FQDN を設定します。

＜最大文字数＞ 半角英数字 63 文字 ＜初期値＞ 0.0.0.0

UDP ポート

通知先の UDP ポートを設定します。

＜設定値＞ 1～65535 ＜初期値＞ 20000

イベント/通知の設定をする

■ HTTP 通知を設定する【HTTP 通知】

HTTP 通知の通知先を設定します。通知先 1～通知先 5 まで最大 5 つの通知先が設定できます。

HTTP通知			
通知先1	HTTPサーバー	0.0.0.0	
	ポート	20000	(1～65535)
	アカウント		
	パスワード		
通知先2	HTTPサーバー	0.0.0.0	
	ポート	20000	(1～65535)
	アカウント		
	パスワード		
通知先3	HTTPサーバー	0.0.0.0	
	ポート	20000	(1～65535)
	アカウント		
	パスワード		
通知先4	HTTPサーバー	0.0.0.0	
	ポート	20000	(1～65535)
	アカウント		
	パスワード		
通知先5	HTTPサーバー	0.0.0.0	
	ポート	20000	(1～65535)
	アカウント		
	パスワード		

HTTP サーバー

通知先の HTTP サーバーの IP アドレス、または FQDN を設定します。

＜最大文字数＞ 半角英数字 63 文字 ＜初期値＞ 0.0.0.0

ポート

HTTP サーバーのポートを設定します。

＜設定値＞ 1～65535 ＜初期値＞ 20000

アカウント

HTTP サーバーへの接続に使用するアカウント名を設定します。

＜最大文字数＞ 半角英数字 36 文字

パスワード

HTTP サーバーへの接続に使用するパスワードを設定します。

＜最大文字数＞ 半角英数字 36 文字

システムの設定・確認をする

時刻を合わせる【時刻】

「システム」ページの「時刻」をクリックします。



■ 本機に設定されている時刻を確認する

「時刻」に表示されている時刻が現在本機に設定されている時刻です。

■ パソコンの時刻をカメラに設定する【PCの時刻をカメラに設定】

「実行」ボタンをクリックするとパソコンから時間を取得し、時刻を同期します。

■ タイムサーバーに接続して時刻を同期する【SNTP 同期】

1 時刻同期の間隔を設定する

時刻同期の無効／有効、また有効の場合同期間隔を設定します。

<設定値> OFF、1、8、12、16、24 <初期値> OFF

2 タイムサーバーを指定する

入力欄に入力して SNTP サーバーを指定します。「設定」ボタンをクリックするとタイムサーバーから時間を取得し、時刻を同期します。

SNTP 同期が OFF の場合は設定できません。

<最大文字数> 半角英数字 63 文字 <初期値> 0.0.0.0

3 「設定」ボタンをクリックする

■ 手動設定

年月日と時刻を入力して「実行」ボタンをクリックすると、入力した日時をカメラに設定します。

年月日を (yyyy/mm/dd)、時刻を (hh:mm:ss) の形式で入力します。

<設定値> 2022/01/01/ ～ 2100/12/31

メモ：

- ・タイムゾーンは (GMT + 09:00) Tokyo に固定されています。
- ・サマータイムには対応していません。

システムの設定・確認をする

ユーザー権限、パスワードの設定をする【ユーザー】

「システム」ページの「ユーザー」をクリックします。

JVC TK-HD9801

ビューアー | ログアウト

▼ 映像/カメラ

- > 映像設定
- > エンコーダー設定
- > カメラタイトル
- > フライバシーマスク
- > レンズ設定

▶ ネットワーク

▶ イベント/通知

▼ システム

- > 時刻
- > ユーザー
- > サポート機能
- > システムログ
- > 機器情報
- > 動作状況
- > ライセンス

▼ メンテナンス

- > メンテナンス

ユーザー

番号	ユーザー名	アクセス権
1	admin	admin
2	operator	operator
3	user	user

ユーザー登録 ユーザー削除

ユーザー編集

ユーザー名

新しいパスワード

パスワードの再入力

アクセス権

保存 キャンセル

■ 登録されたユーザーリストを確認する【ユーザー】

「ユーザー」の下にユーザー名とアクセス権が表示されます。

システムの設定・確認をする

■ 新しいユーザーを登録する【ユーザー登録】

The screenshot shows the JVC TK-HD9801 user management interface. The left sidebar contains navigation options: 映像/カメラ (Video/Camera), システム (System), and メンテナンス (Maintenance). The 'ユーザー' (User) section is selected. The main area displays a table of existing users and a form for adding a new user.

番号	ユーザー名	アクセス権
1	admin	admin
2	operator	operator
3	user	user

Buttons: ユーザー登録 (Add User), ユーザー削除 (Delete User)

ユーザー編集 (Edit User) form:

ユーザー名	
新しいパスワード	
パスワードの再入力	
アクセス権	<select value="admin"></select>

Buttons: 保存 (Save), キャンセル (Cancel)

1 【ユーザー登録】ボタンをクリックする

ユーザー編集画面が表示されます。

2 登録内容を入力する

ユーザー名

ユーザー名を入力します。(半角大小英数で 4～36 文字、記号は不可)

新しいパスワード

パスワードを設定します。(半角大小英数で 3～36 文字、記号は不可)

パスワードの再入力

「新しいパスワード」で入力したパスワードを再度入力します。

(半角大小英数で 3～36 文字、記号は不可)

アクセス権

ユーザーに付与するアクセス権を設定します。

<設定値> admin, operator, user

各権限の詳細については“アクセス権について” (P.85) を参照ください。

メモ:

- 登録できるユーザーは最大 10 名です。

3 【保存】ボタンをクリックする

システムの設定・確認をする

■ 既存ユーザーのパスワード、権限を変更する

1 設定を変更するユーザーを選択する

ユーザー編集画面が表示されます。

2 変更内容を入力する

ユーザー名

選択したユーザー名が表示されます。(編集するユーザーを変更する場合は、ユーザーリストで新たなユーザーを選択します)

新しいパスワード

パスワードを設定します。(半角大小英数で 3～36 文字、記号は不可)

パスワードの再入力

「新しいパスワード」で入力したパスワードを再度入力します。

(半角大小英数で 3～36 文字、記号は不可)

アクセス権

ユーザーに付与するアクセス権を設定します。

<設定値> admin, operator, user

各権限の詳細については“アクセス権について”(P.85)を参照ください。

3 [保存]ボタンをクリックする

■ ユーザーを削除する

ユーザーリストから削除するユーザーをクリックして選択して、[ユーザー削除]ボタンをクリックします。

メモ: _____

- admin 権限を持つユーザーは最低 1 名登録されている必要があります。

アクセス権について

■ admin 権限

admin 権限でログインすると、すべての機能、設定操作が可能になります。

■ operator 権限

operator でログインした場合、以下の操作を許可します。

- ビューワー(カメラ制御パネルは非表示)
- 静止画保存
- 録画
- 全画面表示
- エンコーダー
- ログアウト



operator 権限でアクセスしたときのライブビューページ

システムの設定・確認をする

■ user 権限

user でログインした場合、以下の操作を許可します。

- ビューワー(カメラ制御パネルは非表示)
- ログアウト



user 権限でアクセスしたときのライブビューページ

システムの設定・確認をする

一定時間操作がないときメニューを消す／同軸通信機能の設定をする ／スケジュールに従って再起動を行なう【サポート機能】

「システム」ページの「サポート機能」をクリックします。

■ 一定時間操作がないときメニューを消す

オートメニューオフ

OSD メニューが 5 分間操作されなかった場合、OSD メニューを非表示にする機能を ON／OFF で設定します。

<設定値>

- ON : オートメニューオフ機能を有効にします。
- OFF : オートメニューオフ機能を無効にします。

<初期値> ON

■ 同軸通信機能の設定をする

「UTC モード」を選択します。同軸通信は、[VIDEO OUT] 端子出力が AHD の場合に限り可能です。

<設定値>

- OFF : 同軸通信を行ないません。
- JVC : LM-W213/LM-W212 モニターの同軸通信方式で動作します。
- PELCO : PELCO プロトコルで同軸通信を行ないます。

<初期値> JVC

システムの設定・確認をする

■ スケジュールに従って再起動を行なう【再起動スケジュール】

有効化

チェックを入れると、指定した日時に本機を再起動します。

＜初期値＞ チェックなし

以下の項目で、再起動する日時を設定します。

日

“0”を設定すると毎日設定した時間に再起動します。

＜設定値＞ 0～31 ＜初期値＞ 0

時

＜設定値＞ 0～23 ＜初期値＞ 0

分

＜設定値＞ 0～59 ＜初期値＞ 0

システムログを表示・更新・ダウンロードする【システムログ】

「システム」ページの「システムログ」をクリックします。

▼ 映像/カメラ

▼ ネットワーク

▼ イベント/通知

▼ システム

> 時刻

> ユーザー

> サポート機能

> システムログ

> 機器情報

> 動作状況

> ライセンス

▼ メンテナンス

システムログ

ログページ 1

1	2023/06/28 16:25:57	[info] [EVEMAN] SendHTTPStatusString[application.http(3).host=0.0.0.0&200 OK]
2	2023/06/28 16:25:57	[info] [EVEMAN] GetHttpHost list[4]
3	2023/06/28 16:25:57	[info] [EVEMAN] SendHTTPStatusString[application.http(4).host=0.0.0.0&200 OK]
4	2023/06/28 16:25:57	[info] [EVEMAN] GetHttpHost list[5]
5	2023/06/28 16:25:57	[info] [EVEMAN] SendHTTPStatusString[application.http(5).host=0.0.0.0&200 OK]
6	2023/06/28 16:25:57	[info] [EVEMAN] GetStatus list[1]
7	2023/06/28 16:25:57	[info] [EVEMAN] SendHTTPStatusString[application.event(1).status=off&200 OK]
8	2023/06/28 16:25:57	[info] [EVEMAN] GetStatus list[2]
9	2023/06/28 16:25:57	[info] [EVEMAN] SendHTTPStatusString[application.event(2).status=initialize&200 OK]
10	2023/06/28 16:25:57	[info] [EVEMAN] GetStatus list[3]
11	2023/06/28 16:25:57	[info] [EVEMAN] SendHTTPStatusString[application.event(3).status=initialize&200 OK]
12	2023/06/28 16:25:57	[info] [EVEMAN] GetStatus list[4]
13	2023/06/28 16:25:57	[info] [EVEMAN] SendHTTPStatusString[application.event(4).status=initialize&200 OK]
14	2023/06/28 16:25:57	[info] [EVEMAN] GetStatus list[5]
15	2023/06/28 16:25:57	[info] [EVEMAN] SendHTTPStatusString[application.event(5).status=initialize&200 OK]
16	2023/06/28 16:25:57	[info] [EVEMAN] GetStatus list[6]
17	2023/06/28 16:25:57	[info] [EVEMAN] SendHTTPStatusString[application.event(6).status=initialize&200 OK]
18	2023/06/28 16:25:57	[info] [EVEMAN] GetStatus list[7]
19	2023/06/28 16:25:57	[info] [EVEMAN] SendHTTPStatusString[application.event(7).status=initialize&200 OK]
20	2023/06/28 16:25:57	[info] [EVEMAN] GetStatus list[8]
21	2023/06/28 16:25:57	[info] [EVEMAN] SendHTTPStatusString[application.event(8).status=initialize&200 OK]
22	2023/06/28 16:25:57	[info] [EVEMAN] GetStatus list[9]
23	2023/06/28 16:25:57	[info] [EVEMAN] SendHTTPStatusString[application.event(9).status=initialize&200 OK]
24	2023/06/28 16:25:57	[info] [EVEMAN] GetStatus list[10]
25	2023/06/28 16:25:57	[info] [EVEMAN] SendHTTPStatusString[application.event(10).status=initialize&200 OK]

更新 ログのダウンロード

システムの設定・確認をする

■ システムログを表示する

ログのリストが表示されます。

また、「ログページ」で表示するページを選択します。

表示されるログの情報は以下のとおりです。

- ログ番号 : 最も古いログを 1 とし、新しいログほど番号が大きくなります。
- 日時 : ログ対象事象が発生した時刻を表示します。
- ログ内容 : システム内部の状態を表示します。

メモ:

- システムログは最も古いものが No.1 として表示されます。最新のログを確認する場合は、「ログページ」で一番数字の大きいページに移動し、最後に記載されているログを参照してください。
-

■ システムログを更新する

[更新] ボタンをクリックすると、システムログのリスト表示が更新されます。

■ システムログをダウンロードする

[ログのダウンロード] ボタンをクリックすると、ログの内容をテキスト形式で保存します。

ログファイルは、以下の内容でご使用のブラウザ既定のダウンロードフォルダに保存されます。

- ファイル名: “IP アドレス_YYYY-MM-DD-hhmmss.mmm_TK-HD9801+機器名称.log”

各メニューの現在の設定値を表示する【機器情報】

「システム」ページの「機器情報」をクリックします。
[コピー]ボタンをクリックすると、現在表示している項目をクリップボードにコピーします。

JVC TK-HD9801

ビューワー | ログアウト

映像/カメラ

ネットワーク

イベント/通知

▼システム

>時刻

>ユーザー

>サポート機能

>システムログ

>機器情報

>動作状況

>ライセンス

メンテナンス

システム

映像/カメラ

ネットワーク

イベント/通知

コピー

システム情報

製品名	TK-HD9801
ファームウェアバージョン	0.0.0.0004
シリアル番号	
IPアドレス	192.168.0.2
MACアドレス	ed:da:dc:9a:c2:73
カメラ起動時間	2023年04月14日(水) 14:03:22

時刻

時刻の同期

時刻	2023年04月14日(水) 17:03:25
SNTP同期	OFF
タイムサーバー	0.0.0.0

ユーザー

ユーザー

番号	ユーザー名	アクセス権
1	admin	admin
2	operator	operator
3	user	user
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

各メニュー設定の現在の設定値を表示します。

配信ビットレート／配信数／配信先情報を表示する【動作状況】

「システム」ページの「動作状況」をクリックします。



以下の内容を表示します。

総配信ビットレート

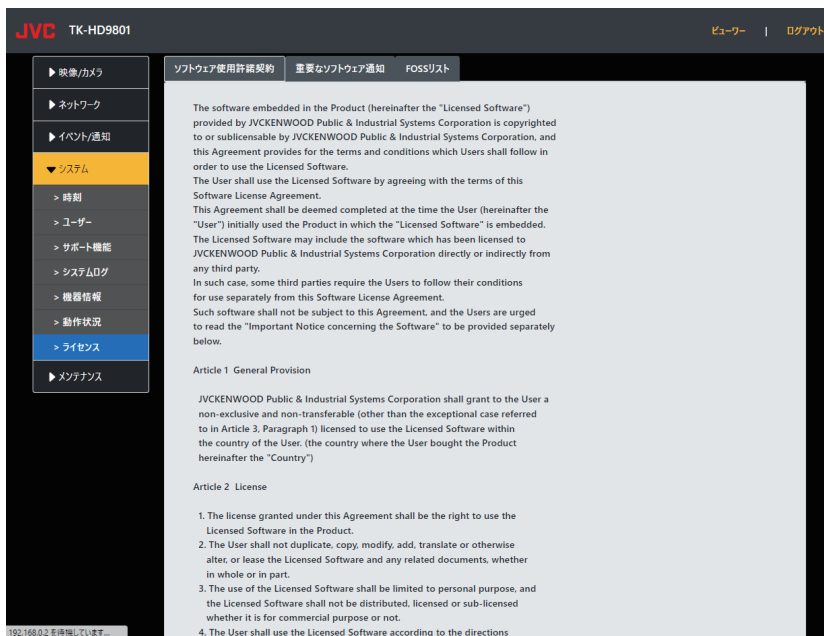
- Total : 総配信ビットレートを表示します。
- TCP : TCP 配信の合計ビットレートを表示します。
- UDP : UDP 配信の合計ビットレートを表示します。

配信先

- Send Count : 配信数を表示します。
- Send To ~ : 配信先の IP アドレスとエンコードタイプ(H.264／H.265／JPEG)を表示します。

ソフトウェア使用許諾契約・ソフトウェア通知・FOSS リストを表示する【ライセンス】

「システム」ページの「ライセンス」をクリックします。



以下の内容を表示します。

■ ソフトウェア使用許諾契約

ソフトウェア使用許諾契約について記載しています。本機を使用することによって当該契約に同意したものとみなされます。

■ 重要なソフトウェア通知

ソフトウェアライセンスの「重要なソフトウェア通知」を表示しています。

■ FOSS リスト(ライセンスタイプ、使用されているモジュール名とバージョン、変更の有無など)

使用している FOSS、バージョン、変更の有無、ライセンスファイルを表示します。

メンテナンスする

「メンテナンス」ページの「メンテナンス」をクリックします。



■ ファームウェアを更新する

[ファイルの選択] ボタンをクリックして、パソコンにダウンロードしたファームウェアファイルを選択します。

[工場出荷設定を行う] にチェックを入れた状態でファームウェアを更新した場合、本機の設定はすべて初期化されます。チェックを入れない場合は、本機の設定はファームウェア更新前と変わりません。

[更新] ボタンをクリックすると、ファームウェアアップデートを開始します。ファームウェアの更新に成功した場合は、自動で本機を再起動します。

ご注意：

- ファームウェア更新中には、LAN ケーブルまたは電源ケーブルを抜かないでください。アップデートに失敗して故障するおそれがあります。
- アップデートを開始する前に、本ページ以外(ビューワーなど)からのカメラへのアクセスを終了してください。
- アップデートを開始する前に、OSD メニューを閉じてください。



■ カメラ設定のエクスポートをする

[エクスポート] ボタンをクリックすると、カメラ設定情報をパソコンにエクスポートします。エクスポートしたファイルは暗号化され、以下の内容で保存されます。

- ファイル名: “YYYY.MM.DD-hh.mm.ss.mmm_TK-HD9801+機器名称.bin”
- 保存先: ダウンロードフォルダ (C:¥Users¥WindowsAccountName¥Downloads)

■ カメラ設定のインポートをする

[ファイルの選択] ボタンをクリックして、インポートするファイルを選択します。以下のうち、チェックを入れた項目を含めて設定をインポートします。

- ネットワーク設定 : ネットワーク、HTTP/HTTPS/RTSP、アクセス制限、マルチキャスト、SNMP の設定 (P.60)
- ユーザー設定 : ユーザー権限、パスワードの設定 (P.82)

[インポート] ボタンをクリックすると、設定のインポートを実行します。インポート完了後、本機は自動で再起動します。



■ 設定を初期化する【工場出荷設定】

以下のうち、チェックを入れた項目については設定の初期化を実行しません。

- ネットワーク設定 : ネットワーク、HTTP/HTTPS/RTSP、アクセス制限、マルチキャスト、SNMP の設定 (P.60)
- ユーザー設定 : 本機に登録されているユーザー、パスワードの設定 (P.82)
- 時刻の設定 : 本機に設定されている時刻の設定 (P.81)
- バックフォーカス : バックフォーカス位置の設定 (P.58)

[初期化] ボタンをクリックすると、工場出荷設定(設定の初期化)を実行します。

初期化完了後、自動でカメラを再起動します。

■ 再起動する【再起動】

[再起動] ボタンをクリックすると、カメラを再起動します。

再起動後は、ライブページを表示します。

JVCケンウッド カスタマーサポートセンター

固定電話  0120-2727-87

携帯電話  0570-010-114

一部のIP電話など 045-450-8950

FAX 045-450-2308

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

株式会社 JVCケンウッド・公共産業システム

ホームページ <https://jkpi.jvckenwood.com/>